

始

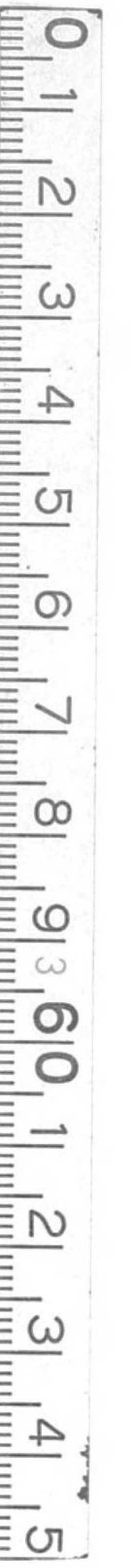




408

39

Ⓜ





408  
89

大谷派  
大遠忌  
式能記念帖



宗祖六百五十年遠志武能

開口文

文明け沿れる御代の御めく女にらや  
 ころこゆ法の場この御堂三のこむ  
 築きく百年を六たひ十年を五かう者し  
 むしと大君の御めくめんとがこむ  
 大沖志るの菊の花あるふうはの白  
 かの黄金の花とくそとくたむる  
 まろこひの姿よあはせて御佛の御名を  
 せらるる諸人のゆきうみちるこの春に  
 いく久きよのうきりるめとらうりける  
 時とらや

#815

明治  
 44. 7. 21  
 内交



## 緒言

明治辛亥春四月眞宗大谷派本山其宗祖

見眞大師六百五十年大遠忌法會ヲ勤修セラレ空前ノ盛儀ヲ以テ修了セラル、ヤ越ヘテ五月一日二日ノ兩日ヲ以テ古例ニヨリ大師堂前白沙ニ式能ヲ開催セラル觀世、金剛、金春、寶生、喜多、五流ノ名人皆其門下ヲ率ヒテ來リ嘶子狂言亦當代斯道ノ粹ヲ集ム總テ二百四十餘人實ニ未曾有ノ大能ナリ吾會特ニ本山寫眞班ヲ命セラレ法會ニ關スル一切ノ事物ヲ撮影シツ、アリシヲ以テ此ノ大能ヲ永遠ニ記念センガタメ全力ヲ盡シテ活動シ原版百餘種ヲ得タリ今ヤ本山ノ允許ヲ蒙リテ本記念帖ヲ發行スルニ當リ聊カ其由來ヲ述スト爾云

一舞臺全體ヲ撮影スレバ演者ノ形チ小ニ過クルヲ以テ機械ヲ前面及ビ樂屋ノ二個處ニ設置シ舞臺面ト仕手トヲ撮影セリ  
一夜間ニ於テハ高貴面前ニスパークライトヲ點ズル能ハザルヲ以テ舞臺面ノ撮影ヲ止メ樂屋ニ於ケル特別撮影ノミニ止メタリ

一各演者其ノ疲勞ヲ顧ミズ特別撮影ニ應ゼラレタルハ班員一同ノ感謝ニ堪エザル處ナリ

明治四十四年六月

編者識



式能組

明治四十四年五月一日  
於大師堂白砂

翁

三千歳

茂山眞一  
茂山千五郎

松竹風流

松ノ精 茂山忠三郎

竹之精 茂山久治  
風流千歳 茂山良一

脇鼓

小早川靖二  
瀬尾 潔

連金剛 巖

高砂

尾上始太郎  
東條照映

谷口喜三郎

前川光隆

眞之習  
流シハツ頭

野口貢五郎  
加藤景信

幸五郎

森田 操

間

當浦ノ者 林 甲子郎

末廣

井上菊次郎

所ノ者 伊勢門水  
太助冠者 井上新三郎  
傘屋 井上新三郎

段三郎 藤野濤平  
鬼王 近藤乾三  
母供 武田喜男  
三川壽一

小袖曾我

川崎利吉  
大倉喜太郎

森田 光風

右近左近

右近 茂山千五郎

女 中垣利幸

連青木只一

熊野

尾上始太郎  
供石井義一

谷市之進

杉次郎助

村雨ノ止

釣狐

白藏主 茂山忠三郎

釣人 畑 傳次郎

道成寺

東條照映  
寶生新

川崎利吉

觀世元規

寶生

野口貢五郎

三須平司

森田 操

間

能力 茂山千五郎  
能勢儀兵衛

笠之段

寶生九郎

川崎利吉

一調

花折

新發知 茂山千五郎

老頭僧 立立 橋本保之助  
赤井萬次郎 竹上平次郎 土田清三郎 石原米三郎 栗田源三郎 福田秀三郎 富士倉正徳 中川喜助

鉢木

二階堂中村信一  
中村彌三郎  
太刀持前田由三郎  
同 馬澄利三郎

谷市之進

藤田米次郎

間

早打尾崎伊三郎  
太刀持 谷野英三

彌宜山伏

山伏 茂山久治

彌宜 山崎九兵衛  
茶屋 西山半兵衛  
大黒 奥村龜太郎

小鍛冶

東條照映  
石井義一

大野勘兵衛

小寺隼之助

間

田鍋惣太郎 森田 操

間

末社 上田榮太郎

二人靜

觀世清久  
片山九郎三郎

谷口喜三郎

荒卷利蔭

武悪

主 茂山千五郎  
武悪 茂山忠三郎

太郎冠者 茂山久治

天鼓

櫻間伴馬  
田中耕吉

長谷川長次

野崎光之丞  
鹿島清左衛門 藤田米次郎

間

召遣ノ者 和久田英太郎

政頼

政頼 井狩辰吉

關覽王 土倉徳三郎  
鬼立頭 梅原保三郎  
同 石田三三郎  
同 梶田次郎  
同 上田常次郎  
同 小川次郎  
同 古澤慶助  
同 野原松之助  
同 西村正次郎  
同 山西村正次郎

子方喜多實

船辨慶

喜太六平太  
野口貢五郎  
加藤景信  
尾上始太郎  
石井義一

林 吉藏

前川光隆

祝言

波間拍子

間

船頭 茂山忠三郎

岩船

高岡鶴三郎

石原三之助  
谷田民之助  
高橋廣次

谷口幸次郎

前川光次  
曾和喜一 武田市太郎



式能組

明治四十四年五月三日  
於大師堂白砂

翁 金剛右京  
三千歳

茂山眞一  
茂山千五郎

二日目ノ式

松竹風流

松ノ精 茂山忠三郎

竹ノ精 茂山久治  
風流千歳 茂山良一

脇鼓

澤上幸次郎  
山上駒太郎

繪馬

天女三崎義三郎  
力神種田嘉三郎  
連片岡慶之助

尾上始太郎  
東條照映  
野口貢五郎  
加藤景信

谷市之進 前川光隆  
竹村龍之助 森田操

間

鬼尾崎伊三郎

鬼橋本保之助  
同上栗田源三郎  
同北村好三郎

靱猿

大名 茂山千五郎

猿引能勢儀兵衛  
猿太郎冠者 中川喜六

朝長

喜多六平太

加藤景信  
東條照映  
尾上始太郎

川崎利吉 觀世元規  
三須平司 杉次郎助  
茂山久治

寢音曲

太郎冠者 井上菊次郎

主 伊勢門水

安宅

立衆沼本益吉  
同矢野清次郎  
同佐々木政次郎  
同中村審三郎  
同佐藤清七郎  
同加藤初太郎  
同加藤義三郎  
同三崎松三郎  
同東岡鶴三郎  
同立頭高山一郎  
同子方山口一郎

寶生新

谷口喜三郎 森田操  
大倉喜太郎

延年之舞  
流シ

間

貝立貝附

強力 茂山千五郎  
太刀持 中垣利幸

木六駄

太郎冠者 茂山忠三郎

主 松本吉次郎  
茶屋 松本伊兵衛  
伯父 松本伊兵衛

松風

連藤野濤平  
野口政吉

野口貢五郎

川崎利吉 藤田米次郎  
幸五郎

間

狸腹鼓

妙寸 茂山千五郎 喜惣太 井狩辰吉

一調

遊行柳

寶生九郎

觀世元規

望月

連金剛巖  
子方長瀬卯一郎  
金剛謹之助

中村彌三郎

川崎利吉 觀世元規  
幸五郎 森田光風

間

止動方角

主 茂山良一 伯父 辻井源次郎  
太郎冠者 茂山眞一 馬 尾崎伊三郎

自然居士

子方種田直三郎  
櫻間伴馬

寶生新

大野勘兵衛 藤田米次郎  
野口貢五郎 田鍋惣太郎

間

墨塗

主 茂山千五郎

太郎冠者 中垣利幸  
同 上田榮太郎

山姥

連神戸太郎  
寺田左門治

中村信一

馬澄利三郎 長谷川長治 小寺隼之助  
田村彌三 曾和嘉兵衛 杉次郎助

間

闖罪人

主 茂山忠三郎

太郎冠者 茂山千五郎

在所ノ者 和久田英太郎  
田畑永太郎 柴田善太郎 北村龜太郎 奥野梅太郎 柴谷岩太郎 高濱利右衛門 松尾清之助 佐々木重次郎 山崎九兵衛

春日龍神

櫻間金太郎

伊藤伊太郎

林吉藏 野崎光之丞  
田中耕吉 鹿島清左衛門 武田市次郎  
芝清三郎

間

亂

大江又三郎

谷田民之助

谷口幸次郎 前川光隆  
山上駒太郎 杉次郎助

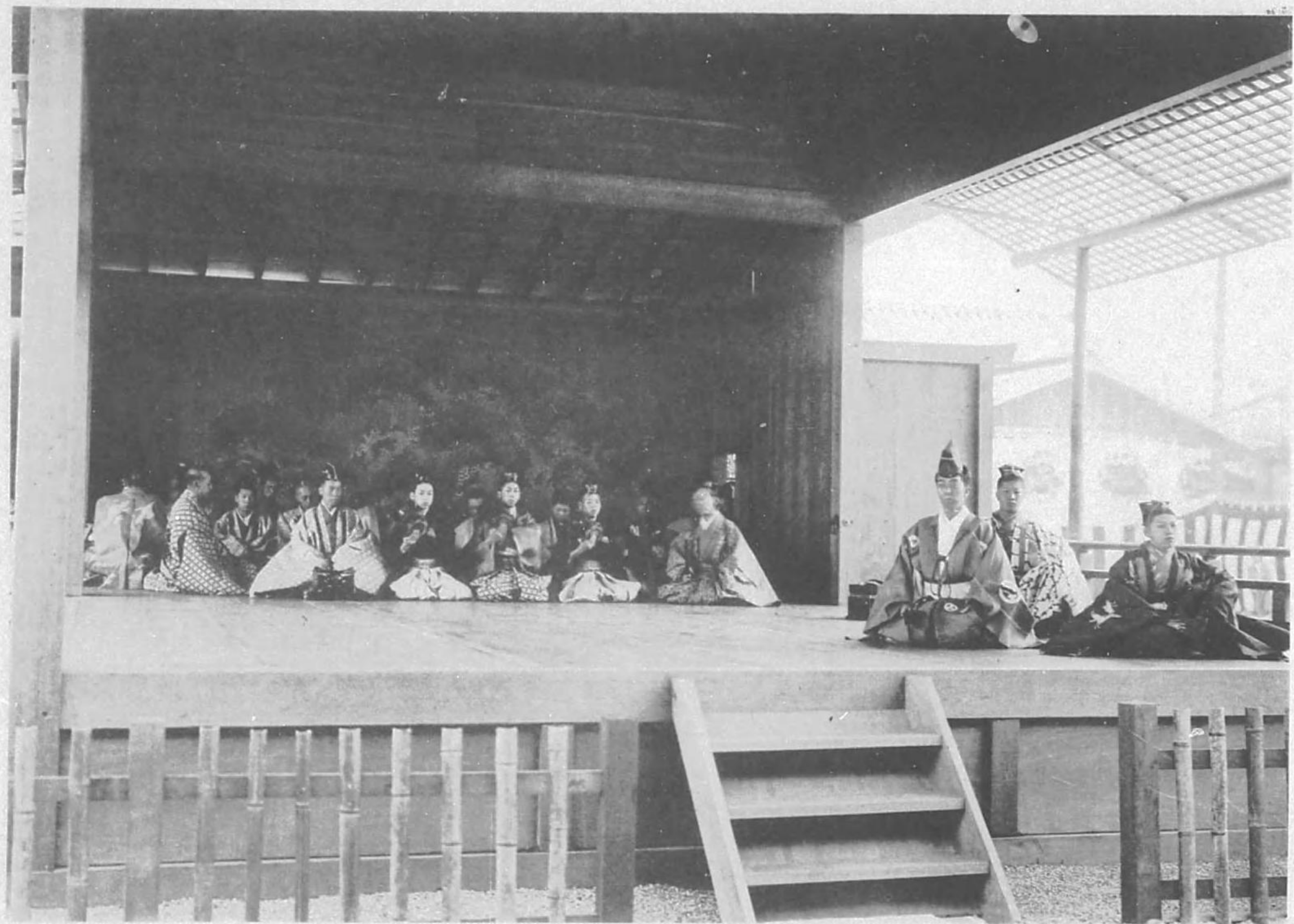


御能奉行

石原環氏

御床几  
御免ノ式



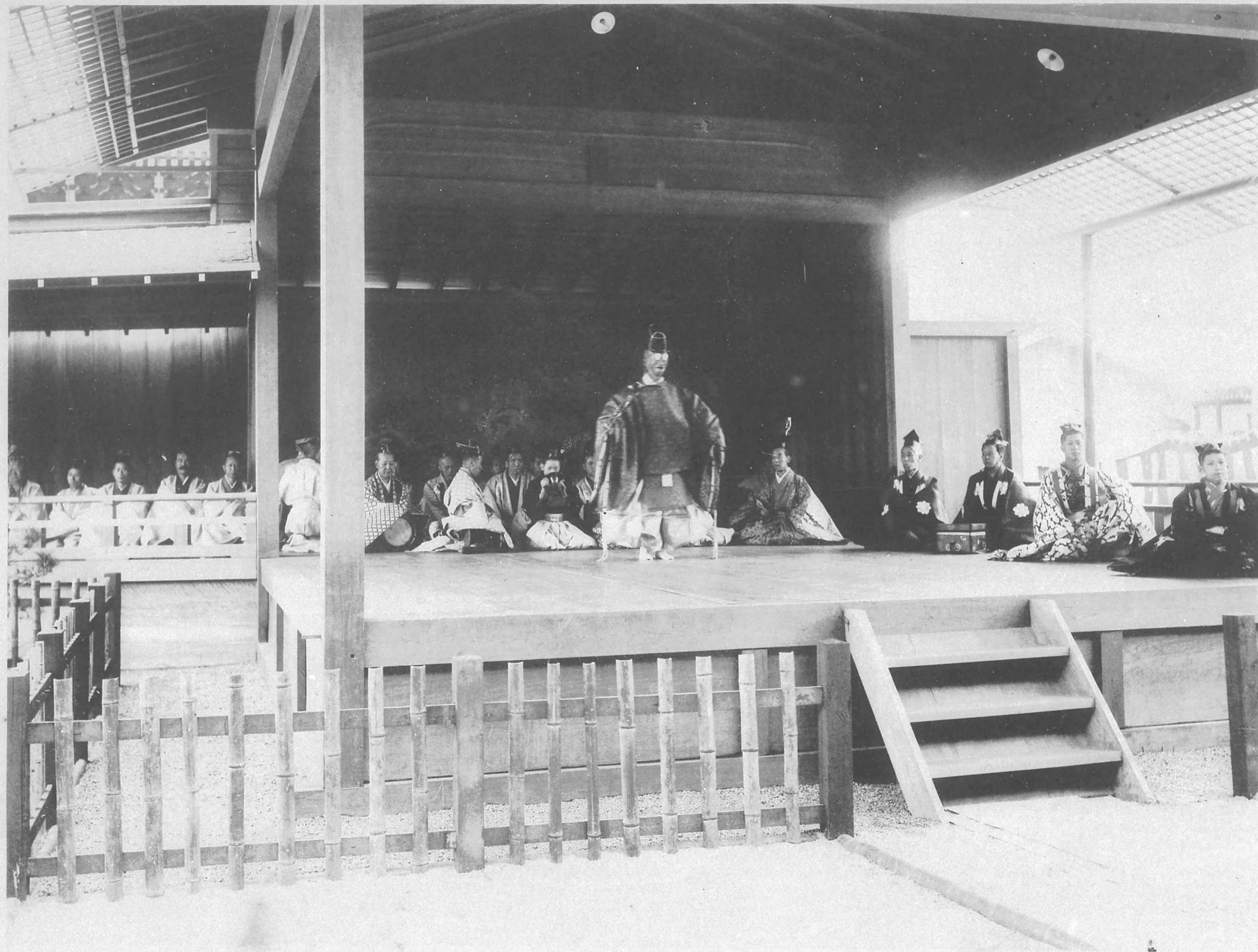




翁

金剛謹之助







翁

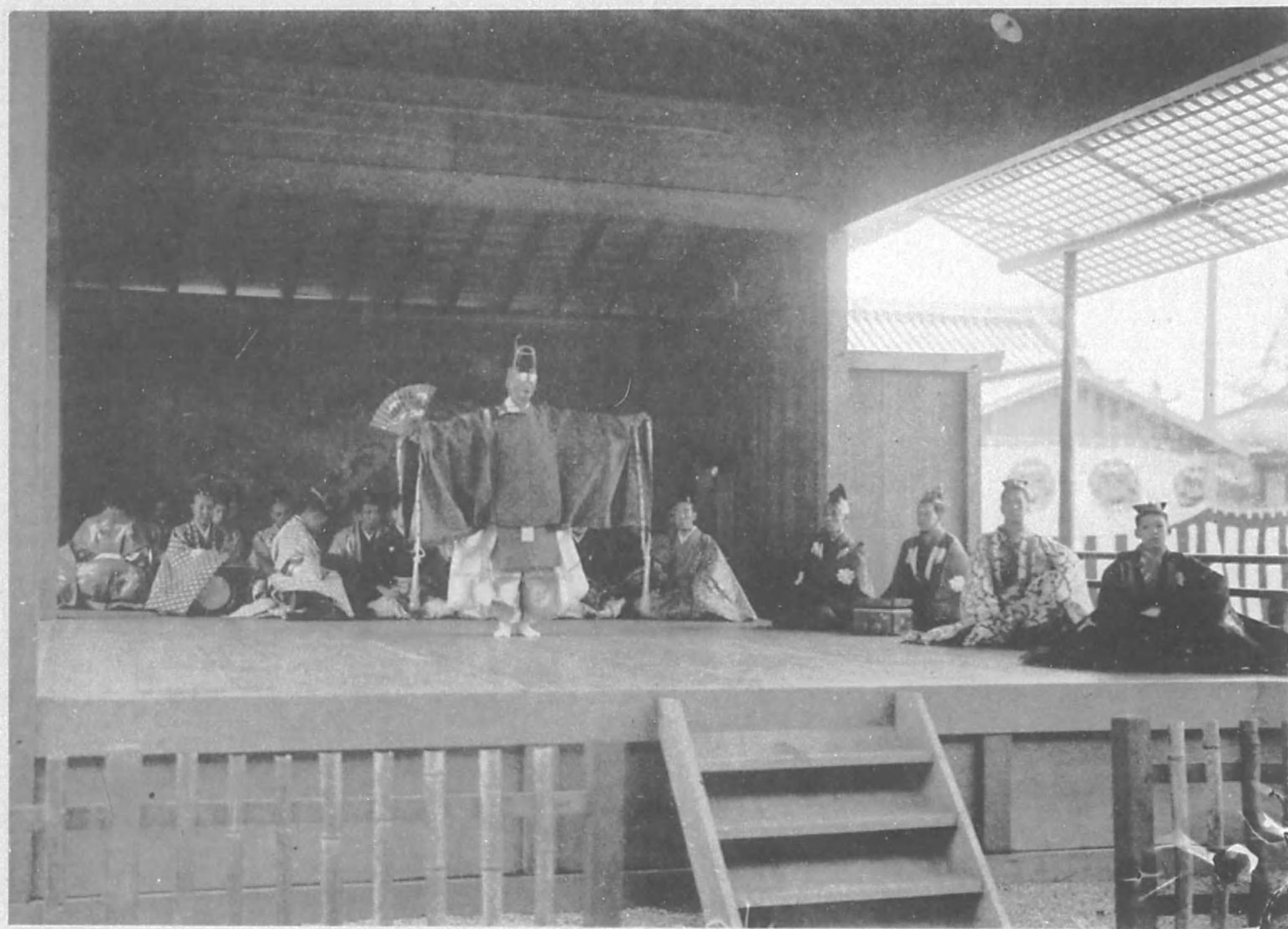
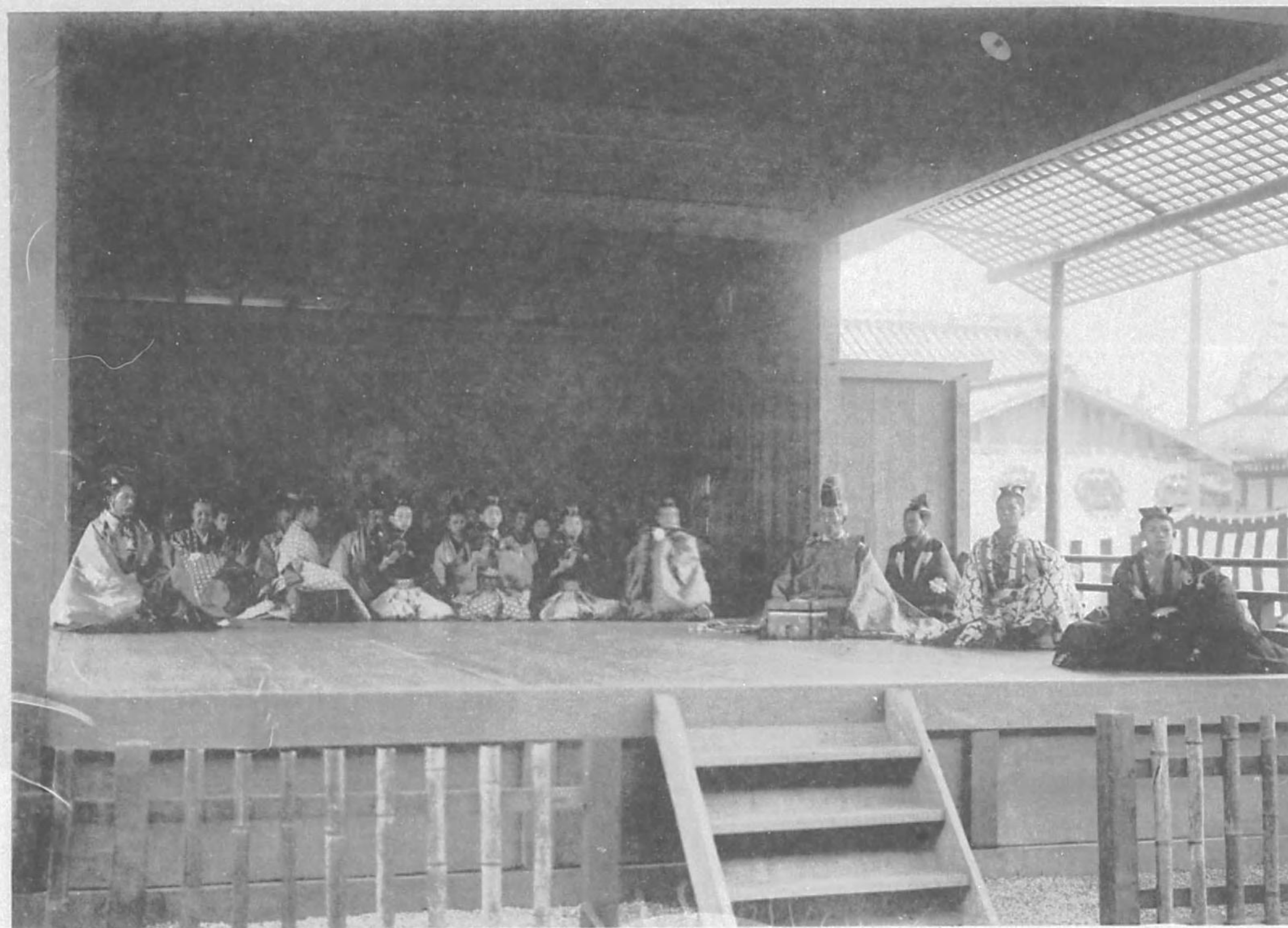
金剛謹之助

(一)

翁

(一)







翁

天地之舞

(三)

三  
番  
叟

鈴  
之  
段

茂  
山  
千  
五  
郎







松  
竹  
風  
流

竹之精  
茂山久治

松之精  
茂山忠三郎

風流千歲  
茂山良一







開 口 寶 生 新

開 口 文

夫明けく治れる御代の御めくみにいやさかじ

ゆく法の場二の御堂三の門高く築きて百年を

六たひ十年を五かへり過しむかしを大君のお

ほしめされてかしこくも大御しるしの菊の花

にほふうつはの白かねに黄金の花もどりそへ

てくたしたまへるよろこひの聲にあはせて

御佛の御名をとなふる諸人のゆすりみちたる

この春はいく久しさのかきりなく

めてたかりける時どかや







高

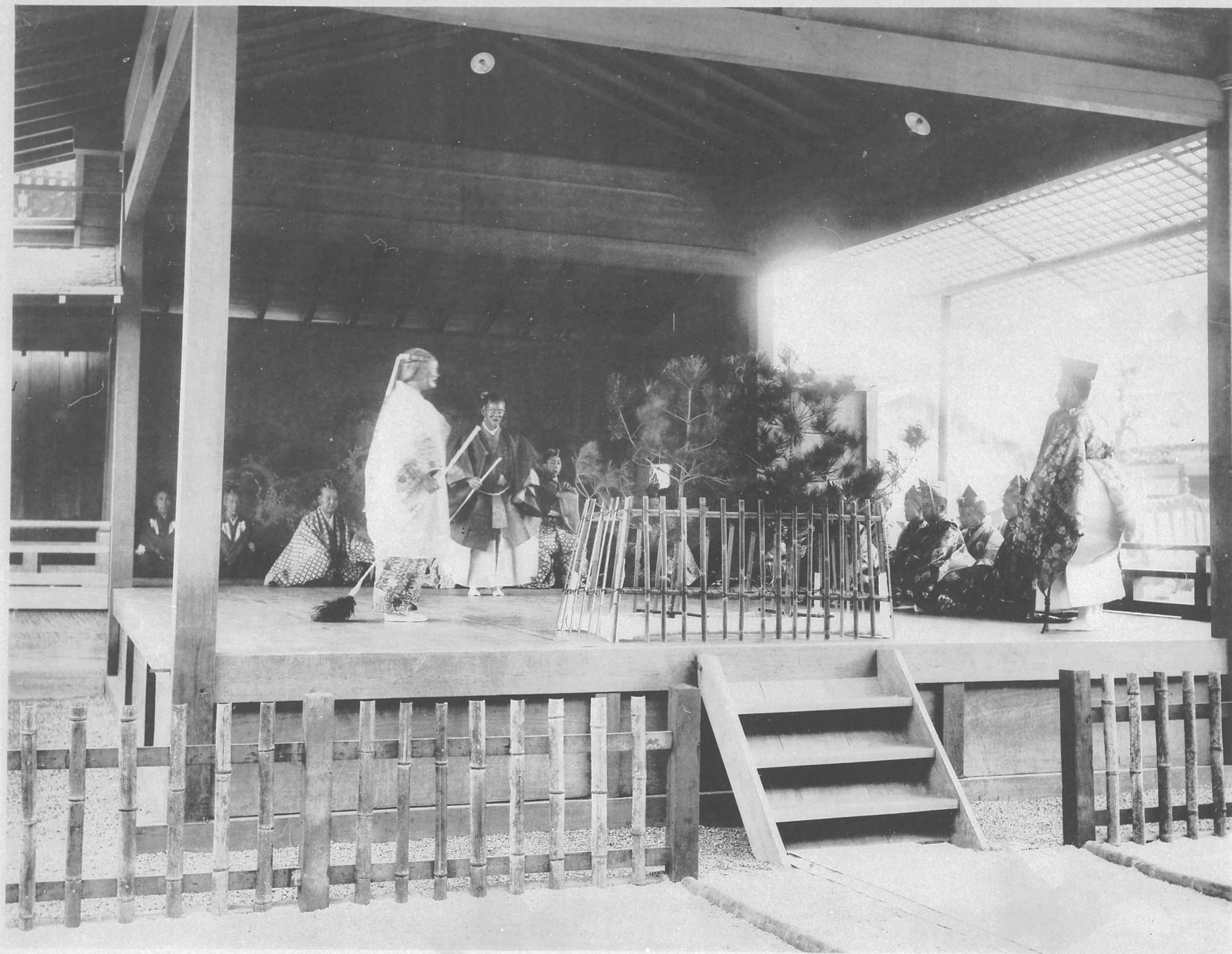
(一) 砂

シテ 金剛 謹之助

ツレ 金剛 巖

ワキ 寶生 新







1900

1900

1900

1900







末

廣

主 井上菊次郎  
太郎冠者 井上鉄次郎  
傘屋 井上新三郎

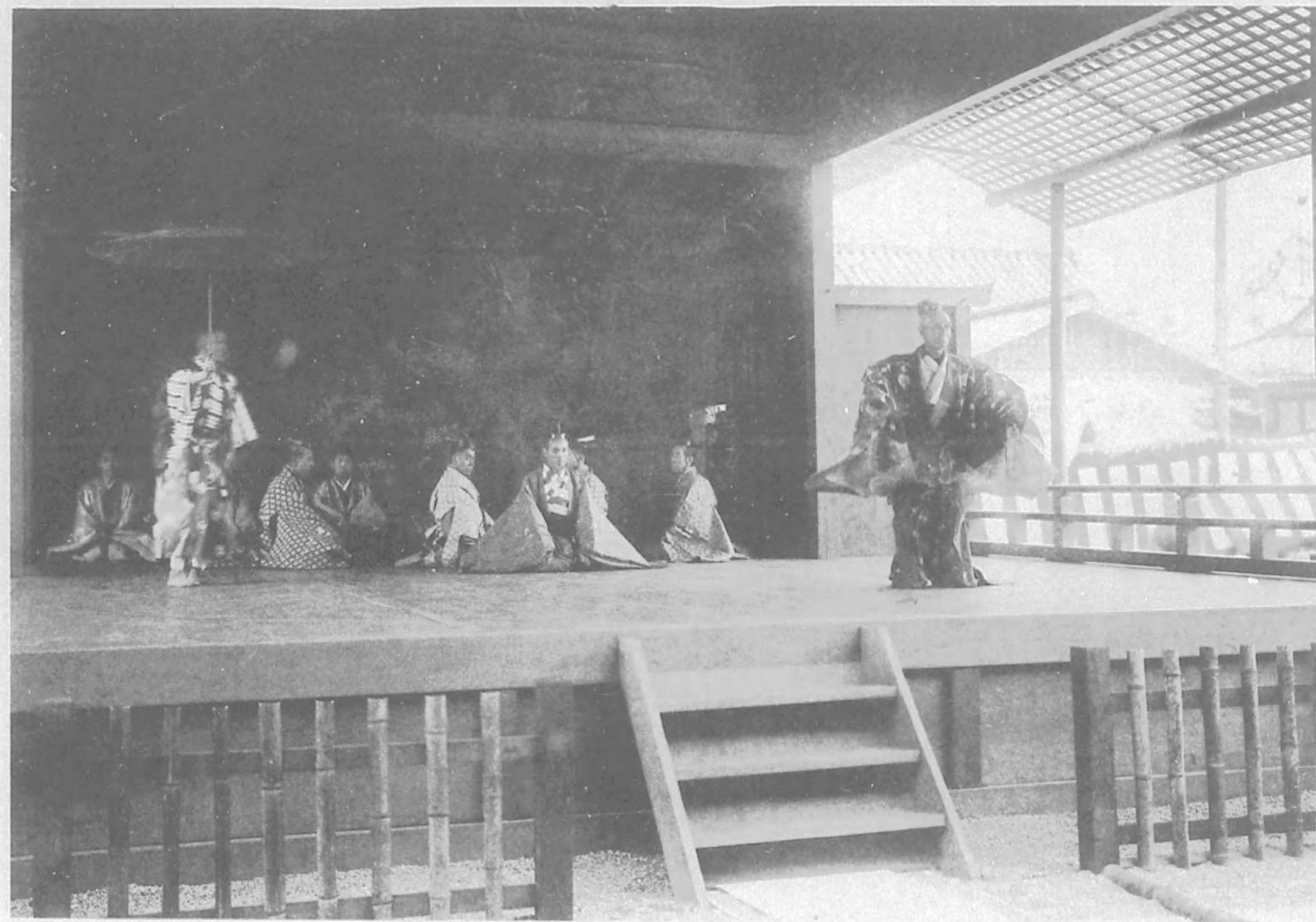
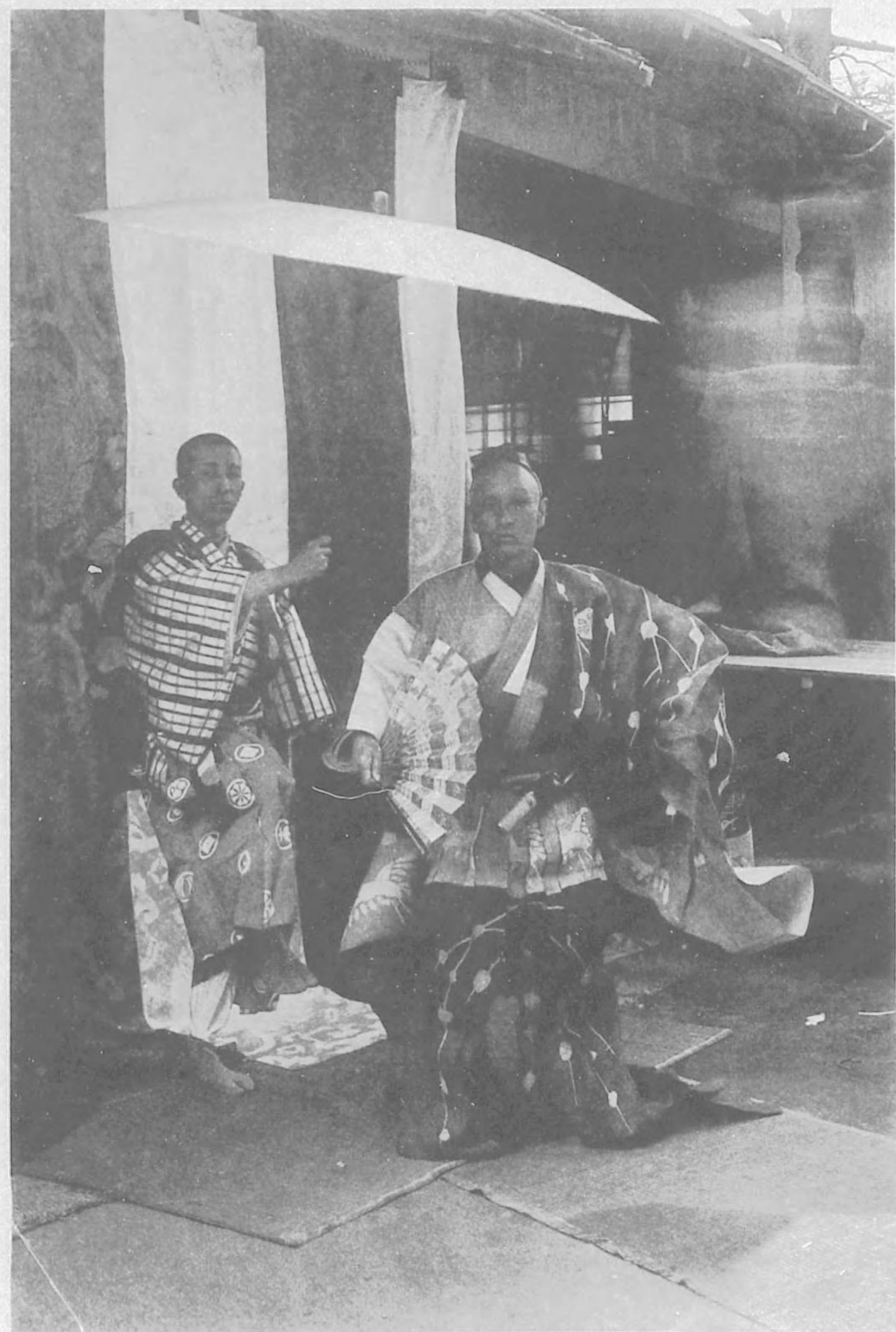
(一)

末

廣 (二)

「傘をさすなる  
春 日 山  
人か傘をさすなら  
我も傘をさそよ  
げにもさあり  
やよがりもさそよなふ〜」







小袖曾我

十郎松本  
五郎野口  
母三川  
鬼玉近藤  
段三郎藤野  
濤乾三  
平

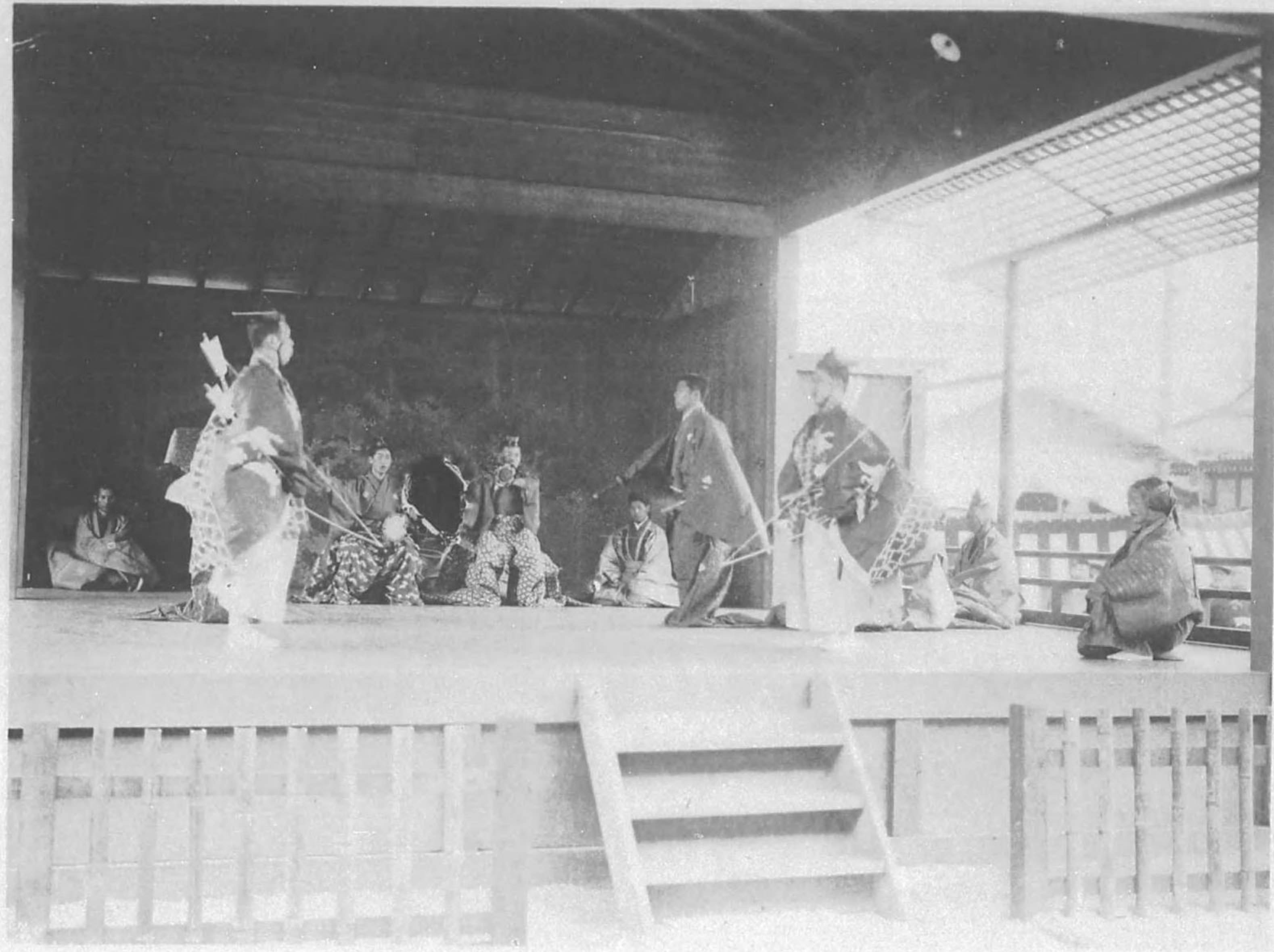
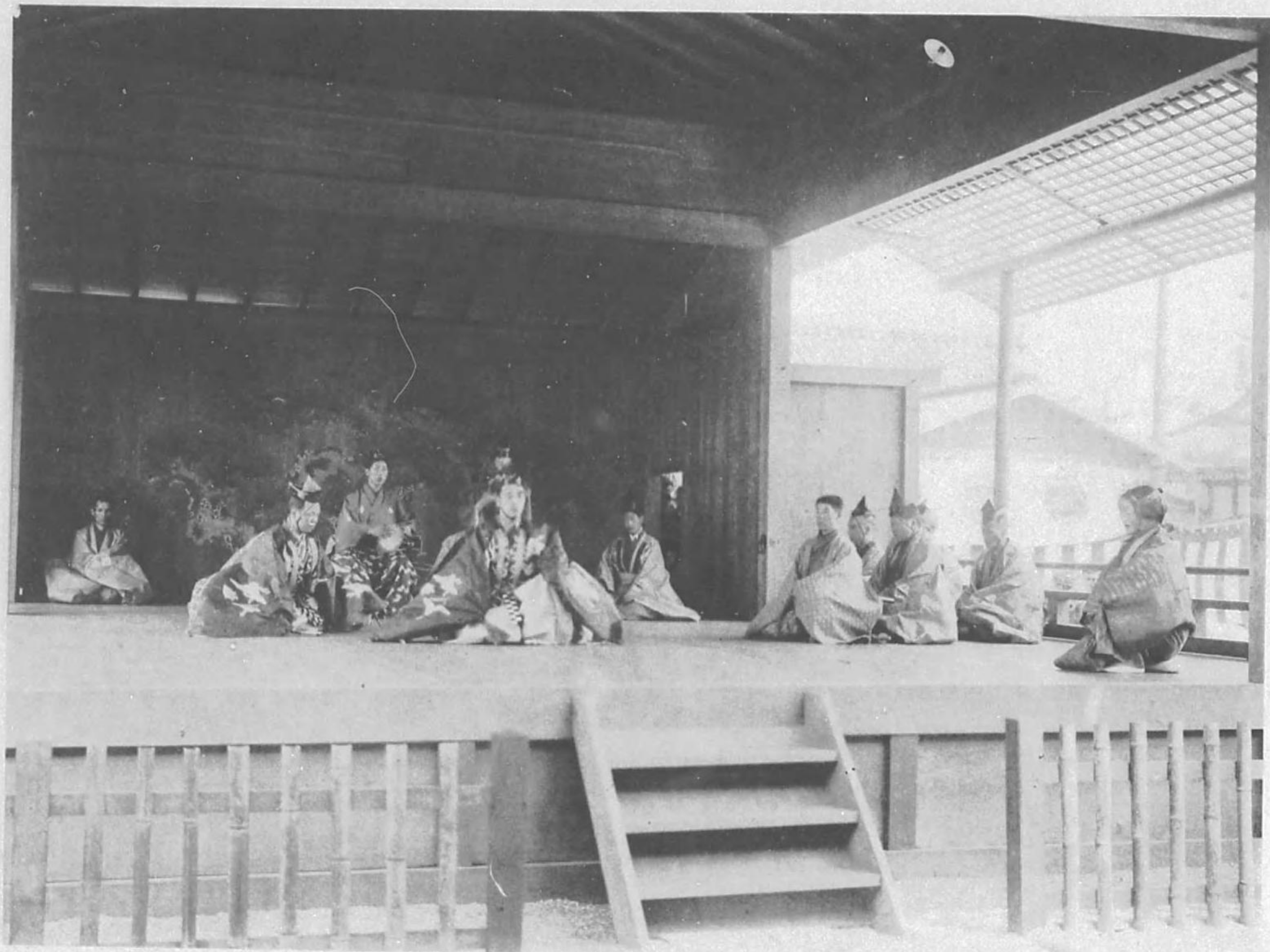
(一)

「命小鹿のかくれ里  
富士のすそのを狩ふよ」

小袖曾我 (二)

「祐成申すに依て  
勘當を許すにて有ぞ」







熊野

シテ 梅若六郎  
ツキ 尾上初太郎

(一)

「四條五條の橋の上老若男女貴賤都鄙  
色めく花衣袖をつらねて行末の」







熊野 (二)

「甘泉殿の春の夜の

夢心を碎くはしとなり」

熊野 (三)

「春前に雨あつて花の開くる事早し

秋後に霜なふして落葉おそし」







釣

狐 (一)

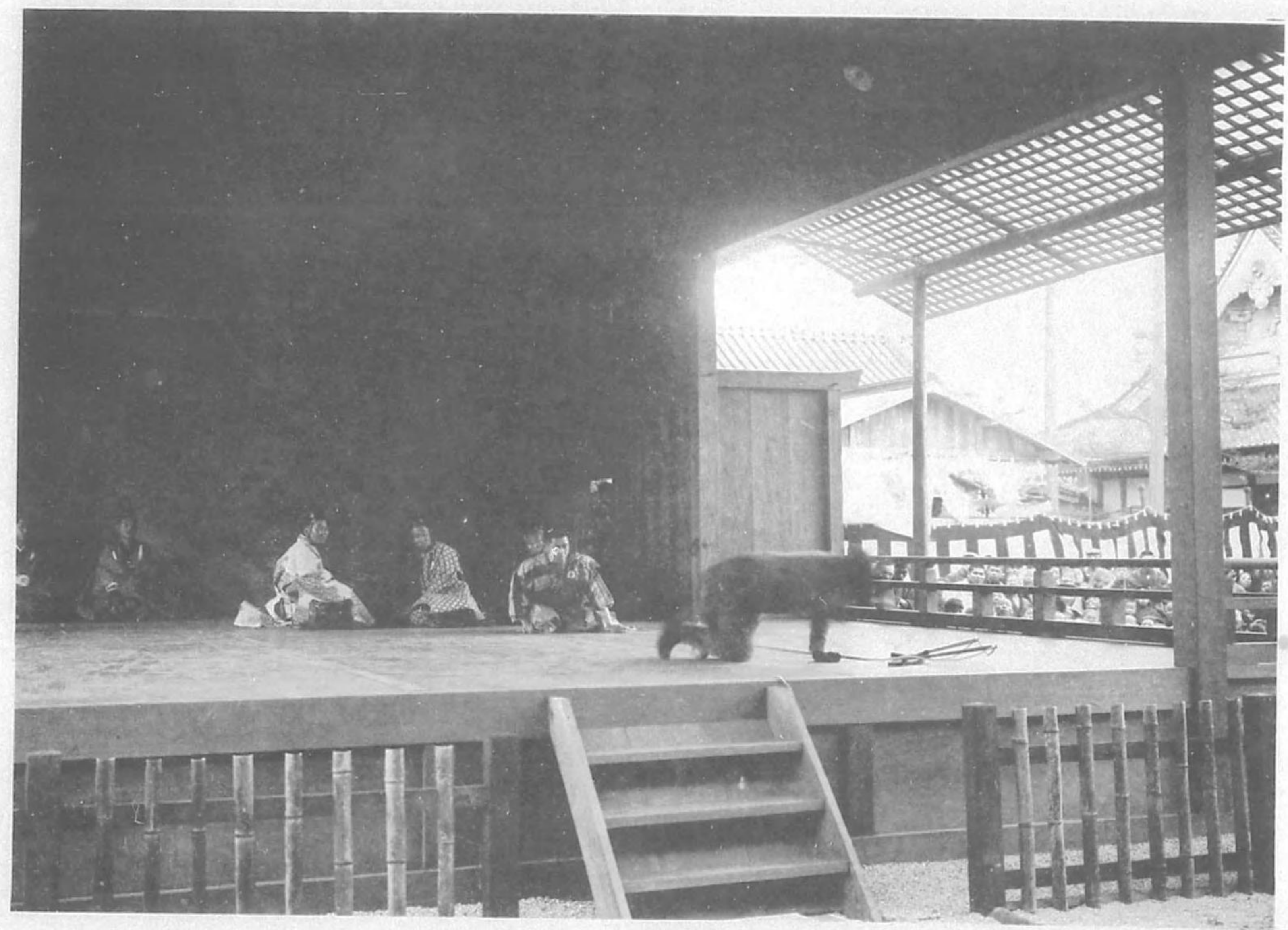
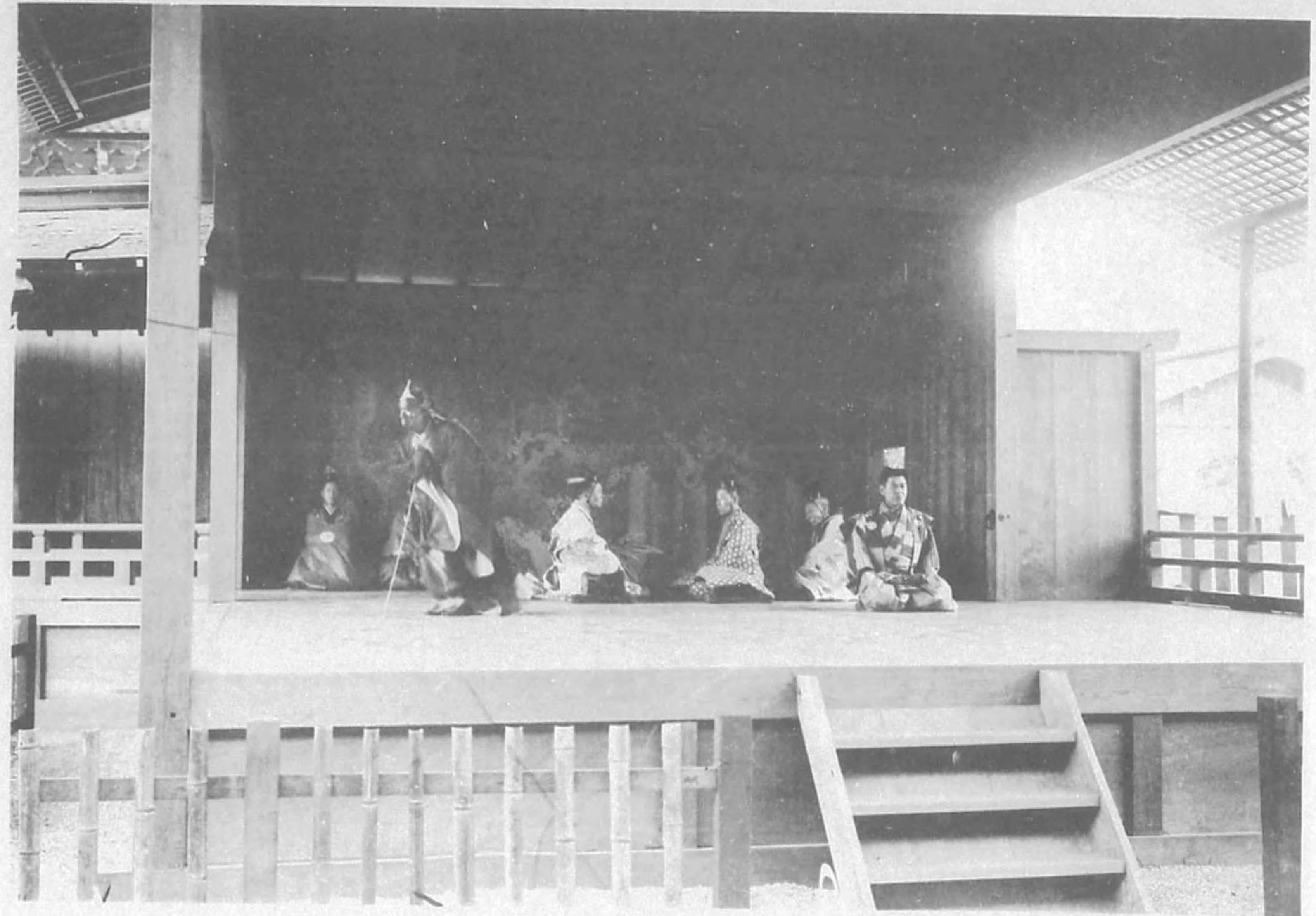
白藏主 茂山 忠三郎  
釣人 畑 傳二郎

釣狐ノ後 (二)

釣

狐 (三)







道成寺(二)

「花の外には松ばかり  
暮そめて鐘や聞くらん」

シテ金剛右京







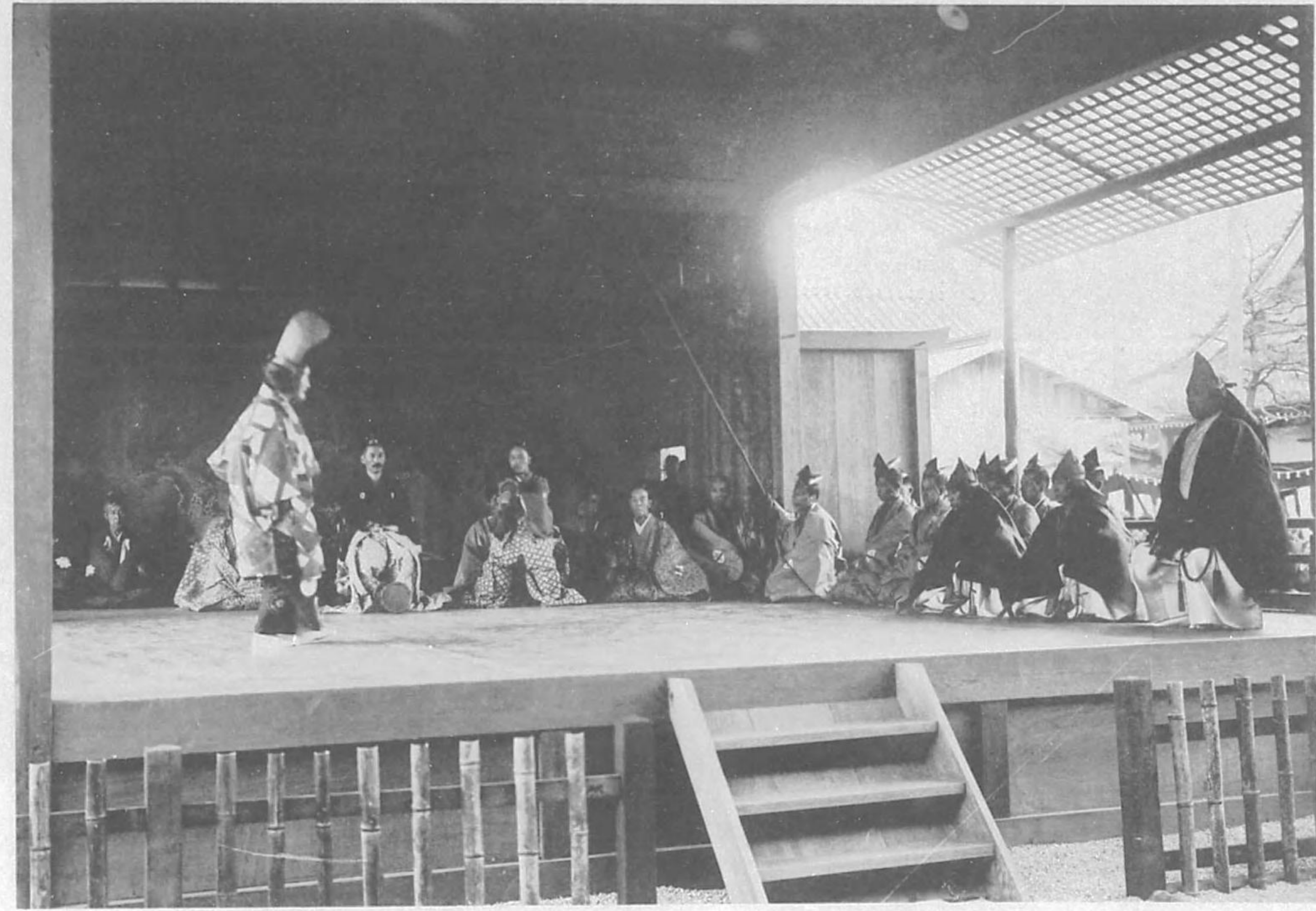
道成寺 (二)

「亂拍子」

道成寺 (三)

「亂拍子」







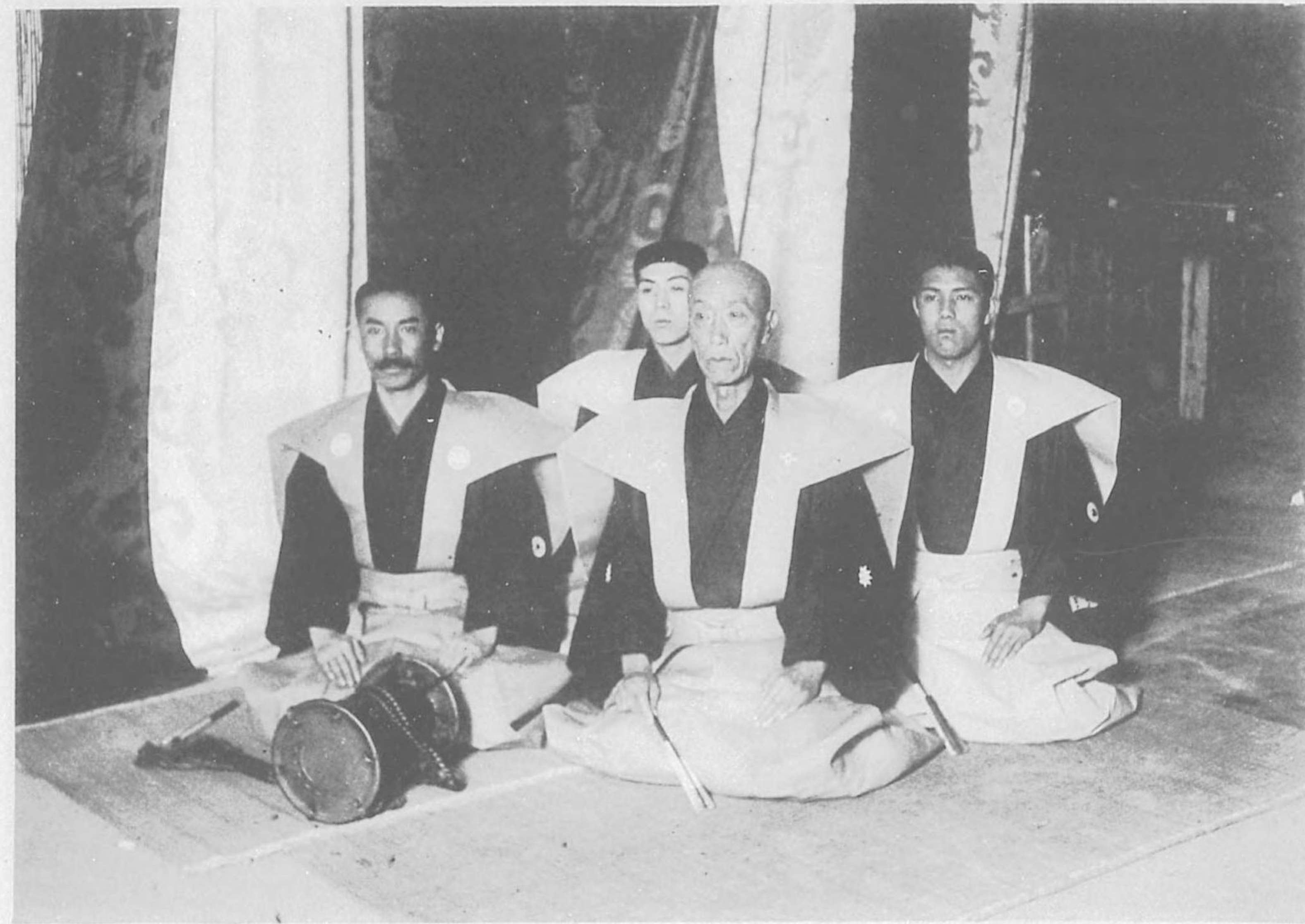
一 調

笠之段

寶生九郎

川崎利吉







鉢 木

シテ 梅若萬三郎

「後シテ」

「打てどもあをれども先へわ進まぬ足弱車の」





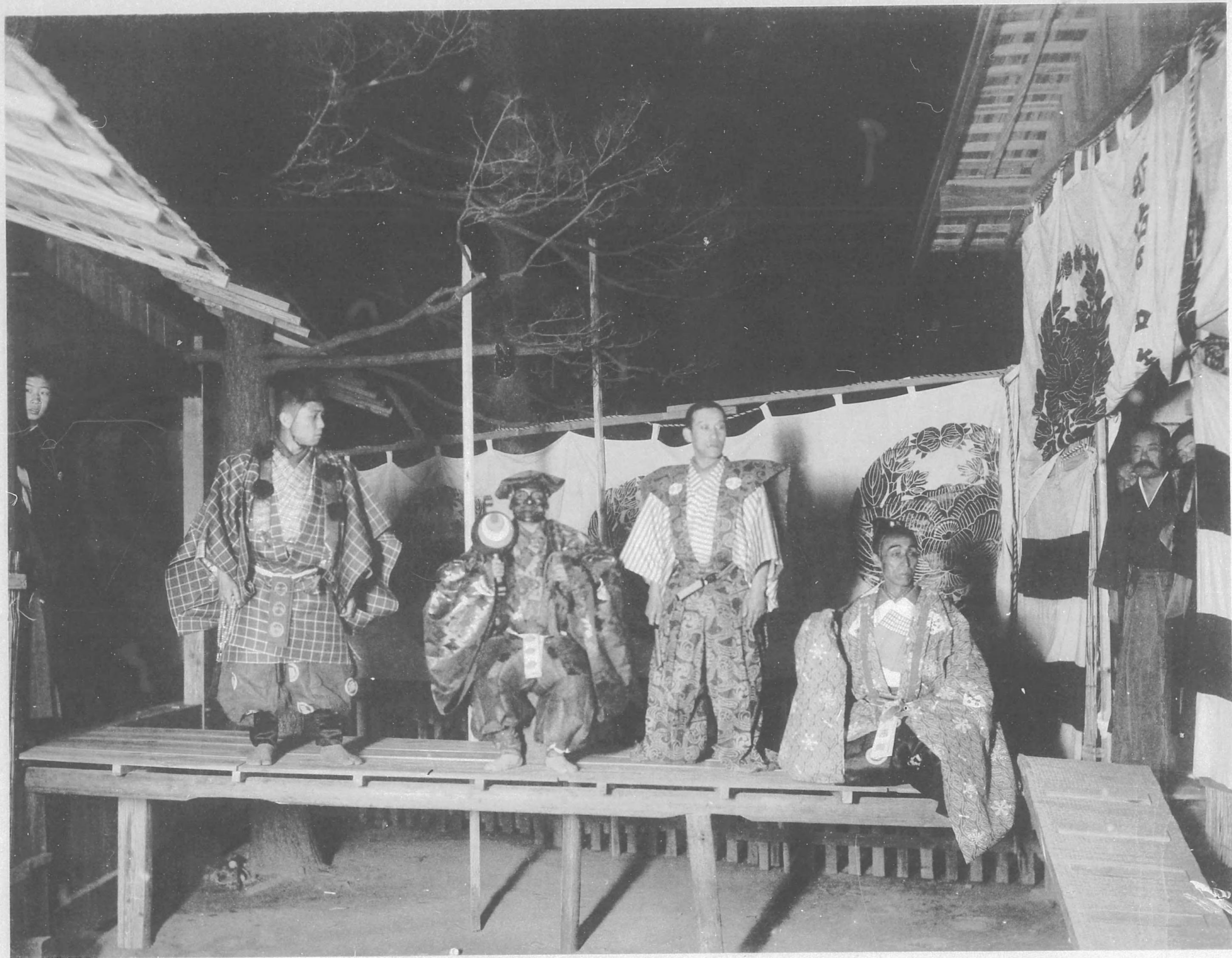


彌  
宜  
山  
伏

山  
伏  
茂  
山  
久  
治

彌  
宜  
山  
崎  
九  
兵  
衛  
茶  
屋  
西  
山  
半  
兵  
衛  
大  
黒  
奥  
村  
龜  
太  
郎







小

鍛

治

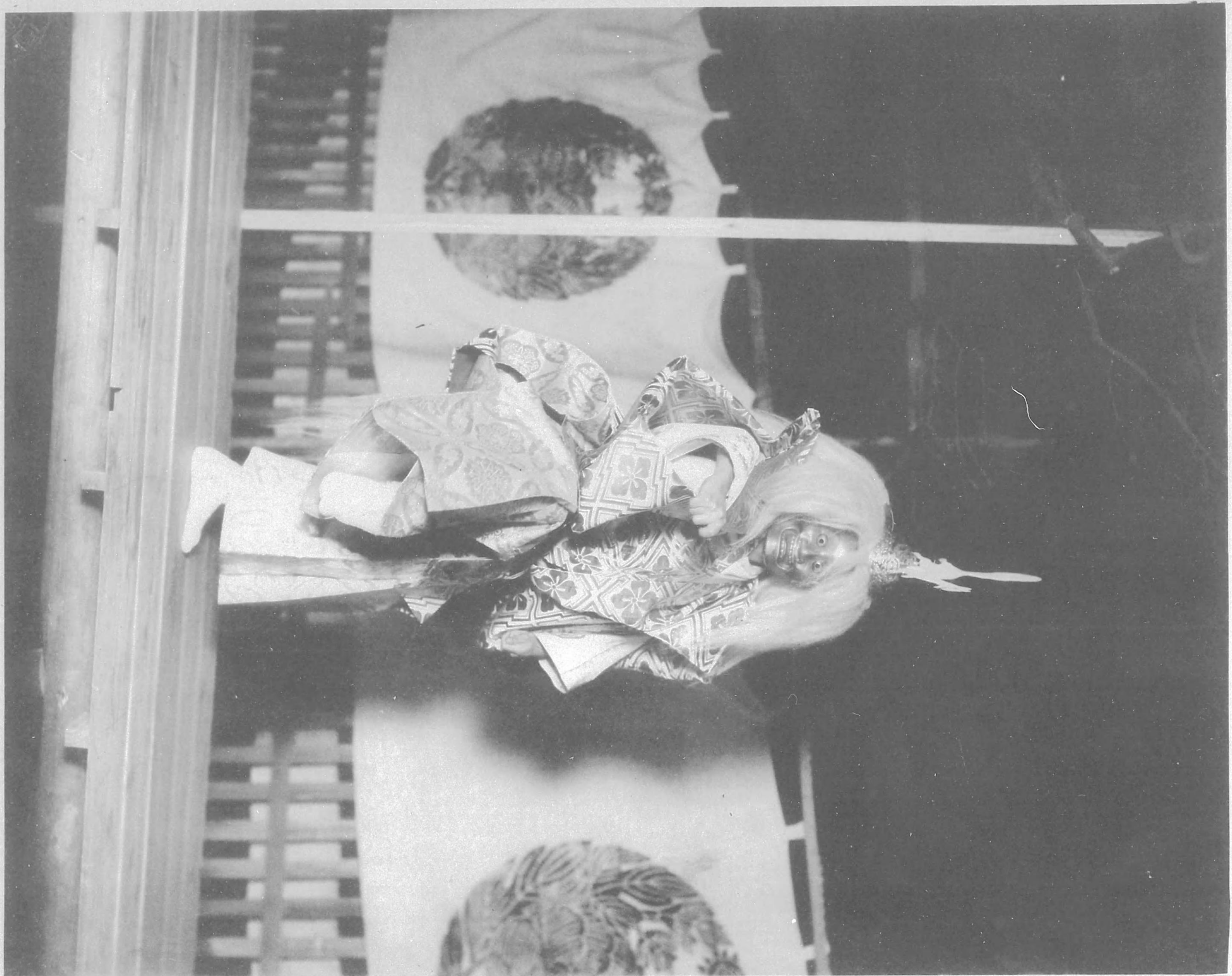
白頭

「後シテ早笛ノ出」

シテ金剛

巖







武

悪

主 茂山千五郎

武悪山忠三郎

太郎冠者 茂山久治







天鼓

シテ櫻間伴馬

「後シテ」

政頼

政頼井狩辰吉







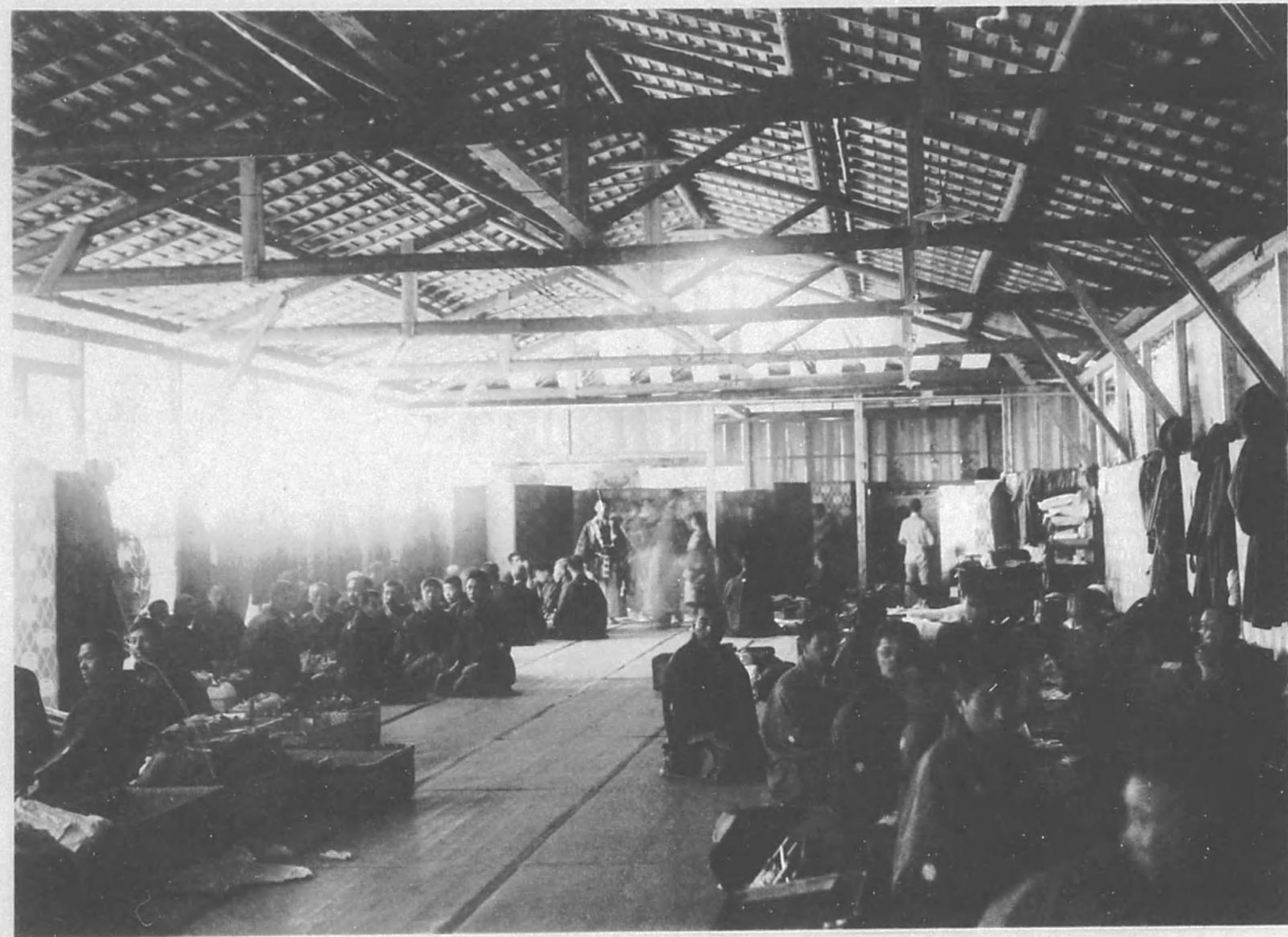
船辨慶

「後シテ」

シテ喜多六平太

御式能樂屋







翁

金剛右京

千歲茂山眞一

三番叟茂山千五郎





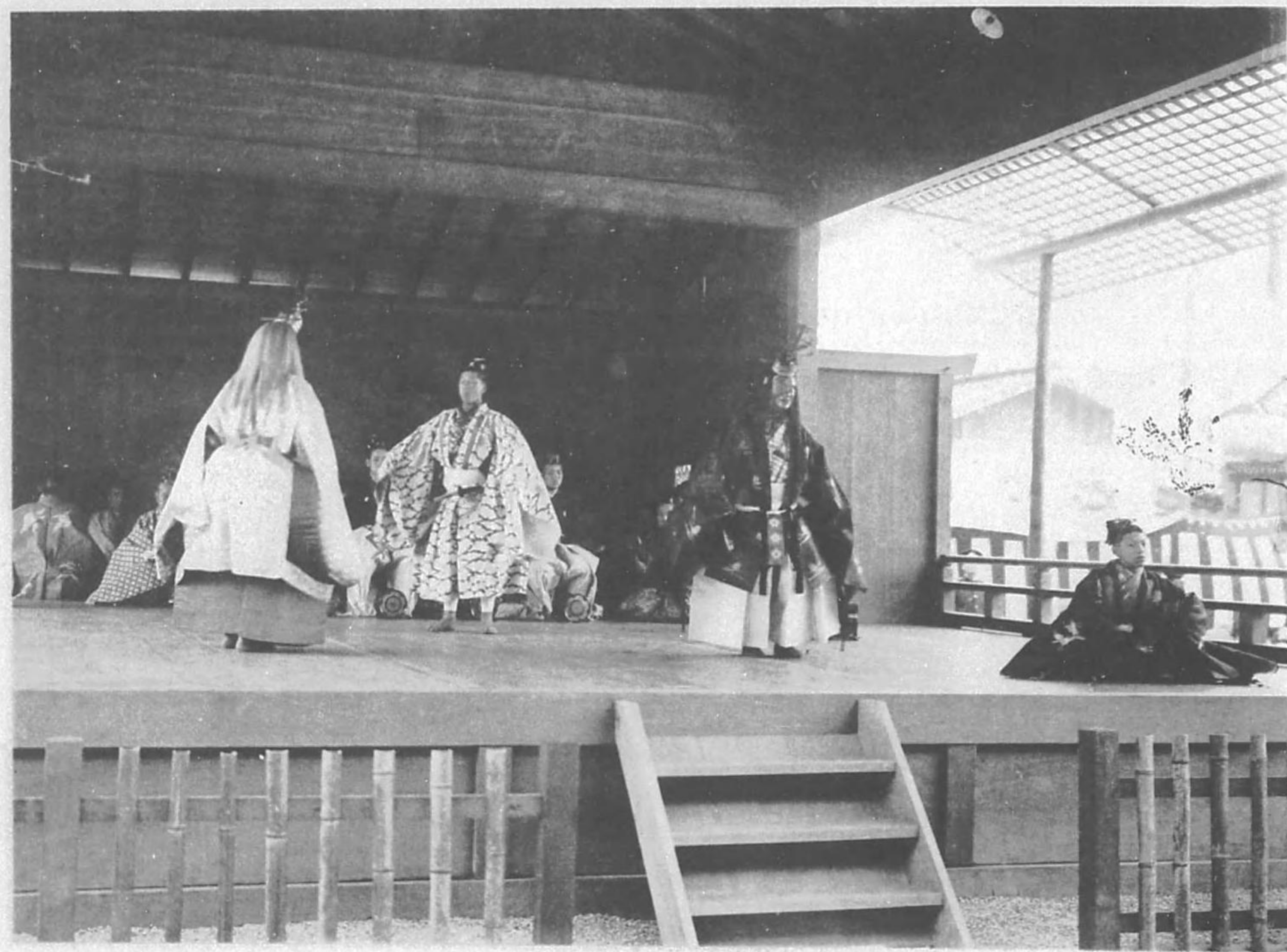


千 歲  
三 番 叟  
茂山眞一  
茂山千五郎

松竹風流

竹ノ精茂山久治  
松ノ精茂山忠三郎  
風流千歲茂山良一







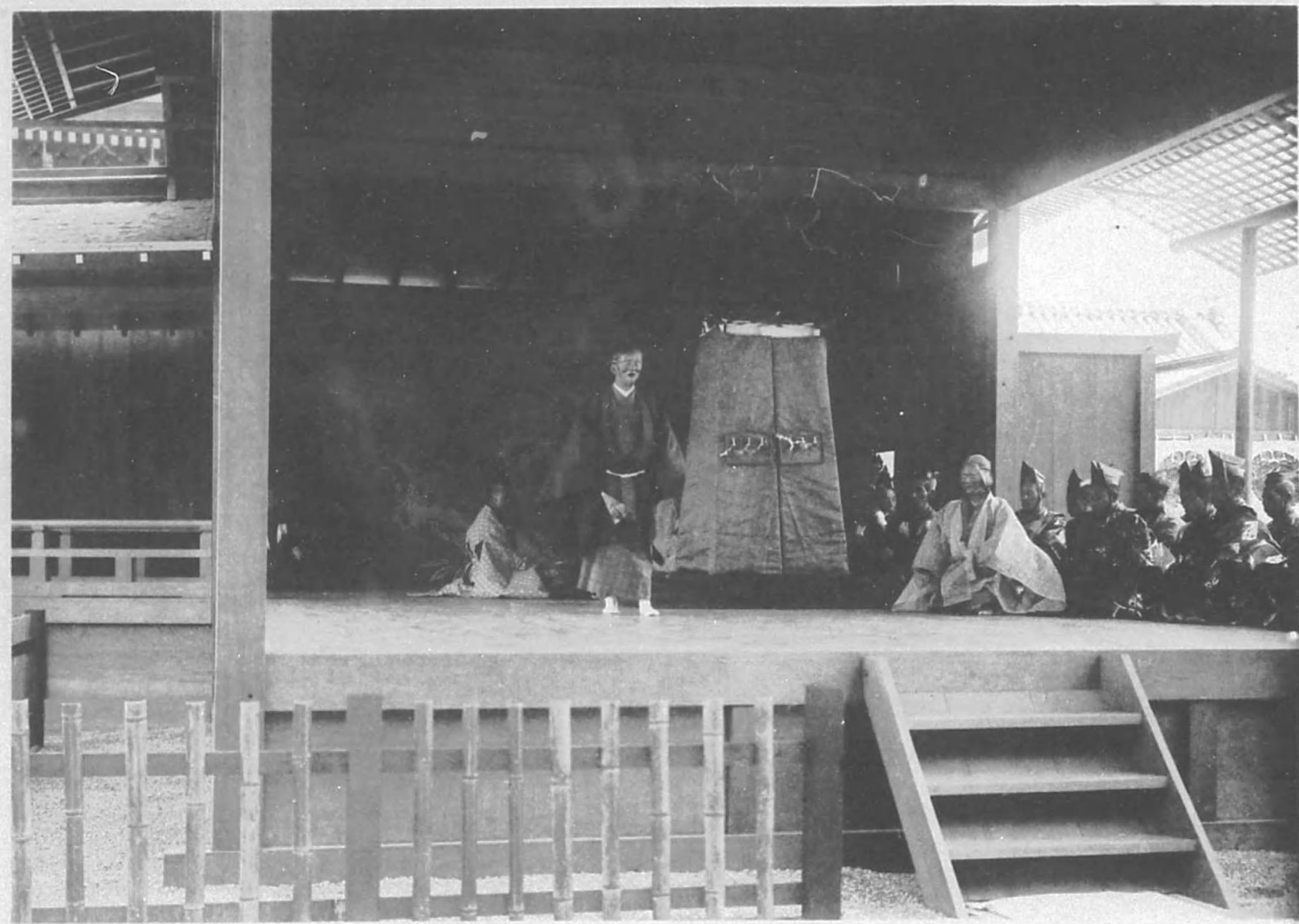
開口

寶生新

繪馬

シテ金剛  
姥岡慶之助  
ソキ寶生新







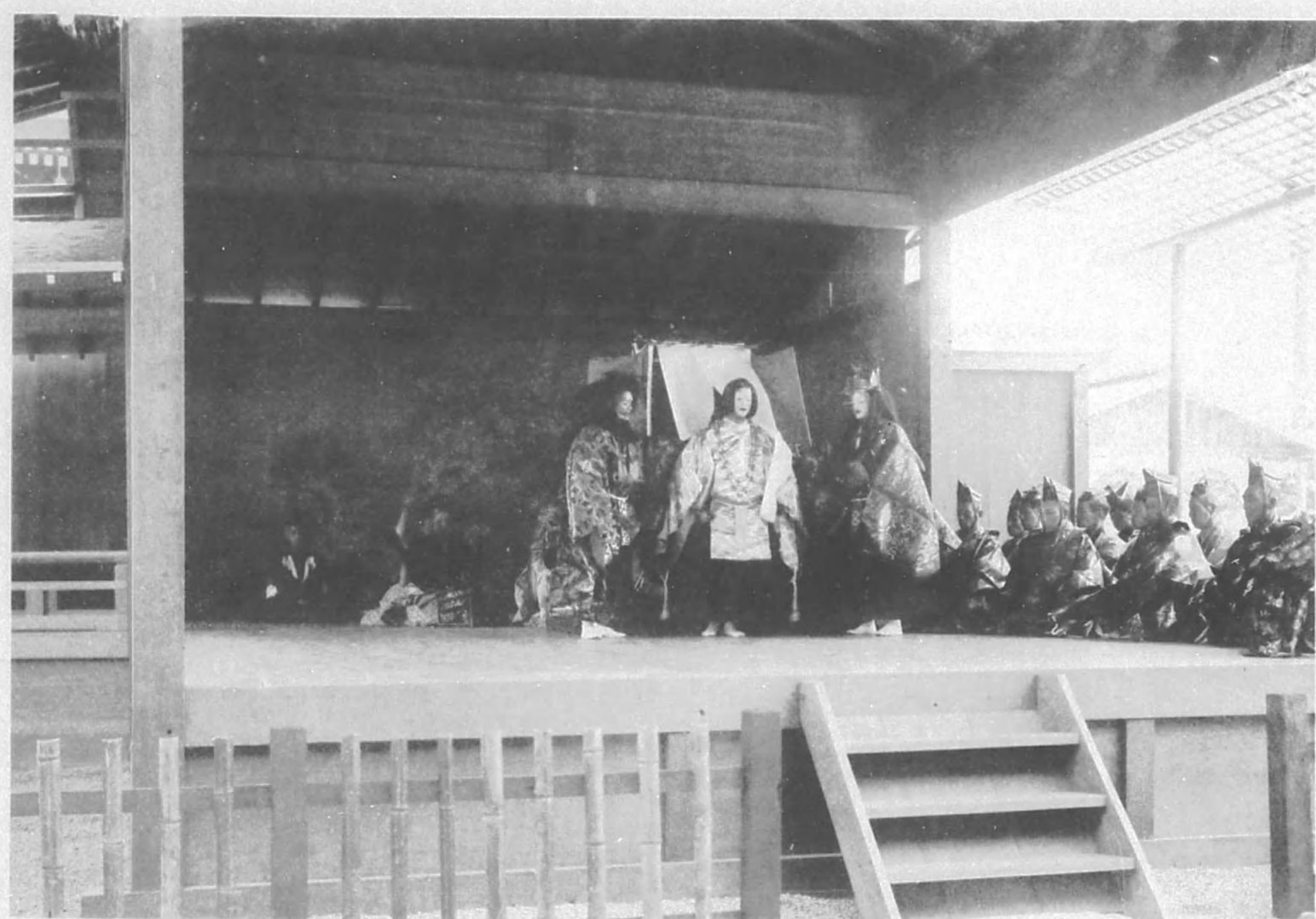
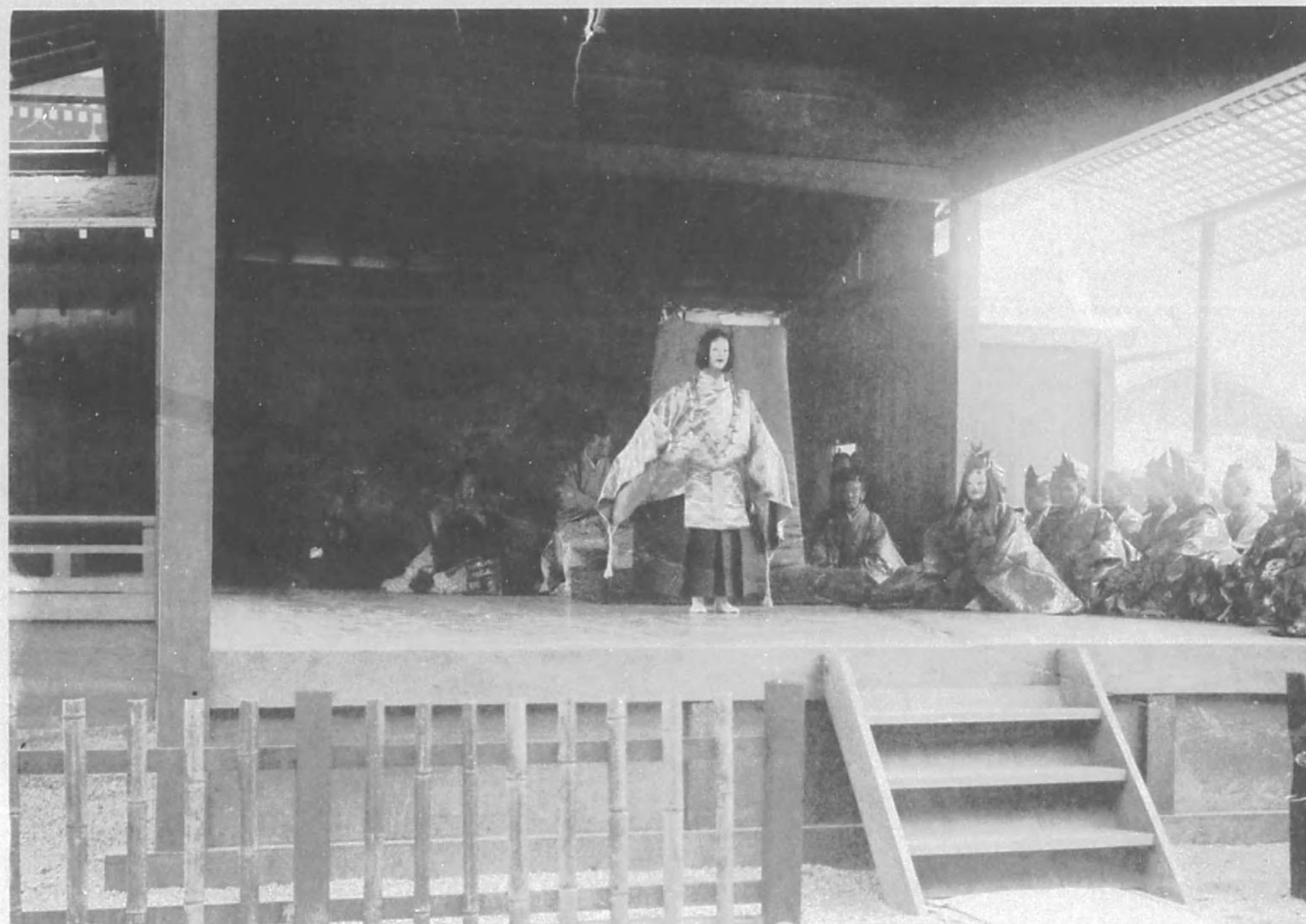
繪馬

天女三崎義三郎  
シテ金剛巖  
カ神種田嘉三郎  
「昔天の岩戸にとち籠つて」

繪馬

天女三崎義三郎  
シテ金剛巖  
カ神種田嘉三郎  
「引つれ顯れ出給ふ有様」







繪馬ノ間

尾崎伊三郎







鞞

猿

大名茂山千五郎

猿引能勢儀兵衛  
太郎冠者土倉徳三郎  
猿中川喜六

「何つうと出て月を見るか」







朝

長

シテ喜多六平太  
ヲキ東條照英  
尾上初太郎

(11)







朝  
長

シテ喜多六平太

「朝長ノ前」

(一)

朝  
長  
ノ  
後

シテ喜多六平太

(一)





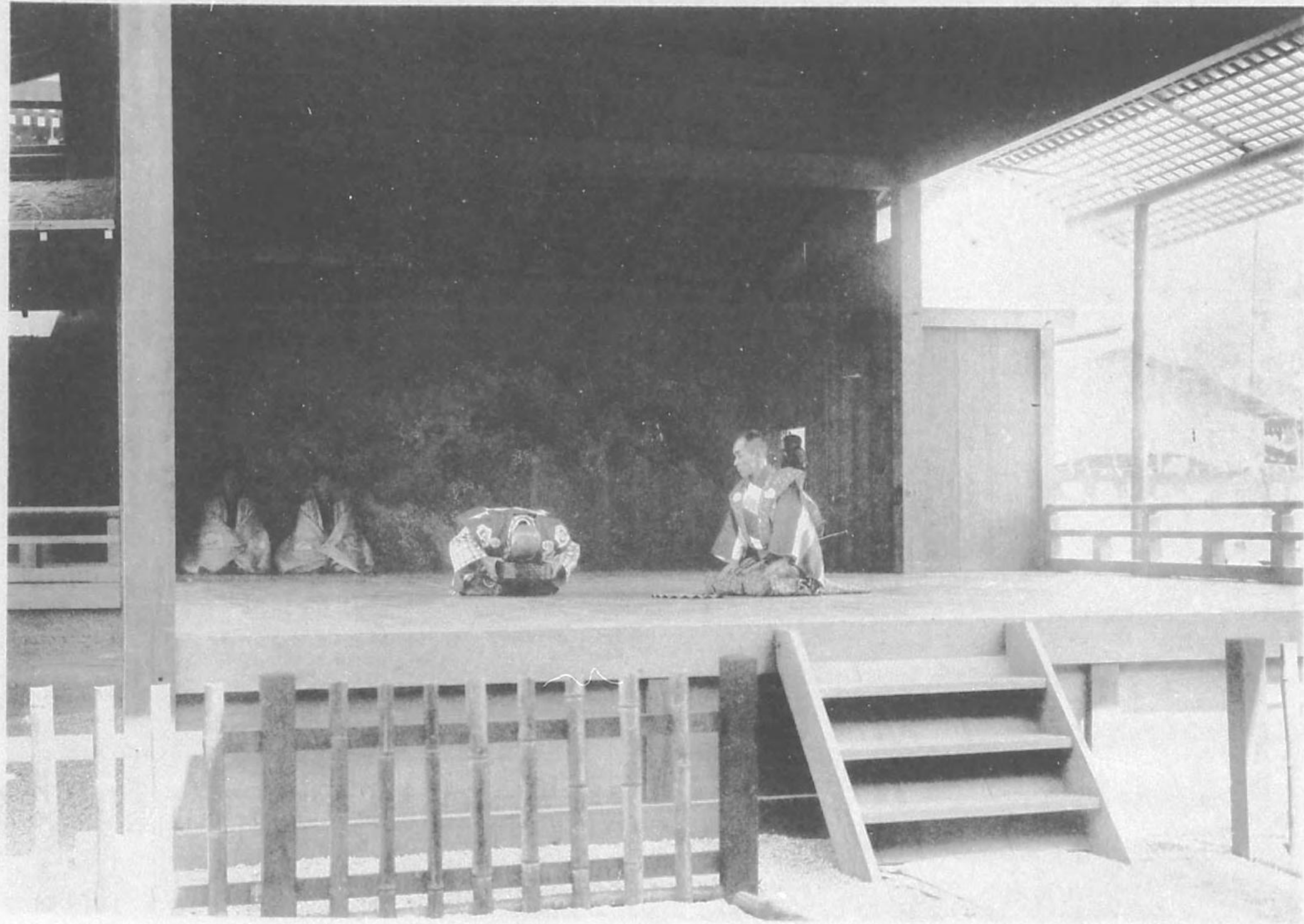


寢音曲 (一)

太郎冠者 井上菊次郎  
主 伊勢門水

寢音曲 (一)







安

宅

(一)

子弟 ツレ 同 同 同 同 同 同 同 同  
 シテ 山 高 三 吉 矢 笹 白 東 加 沼 種  
 金 岡 崎 田 野 木 松 藤 本 田  
 剛 口 義 守 清 正 周 音 嘉  
 謹 一 三 三 之 次 次 松 益 三  
 之 郎 郎 郎 助 郎 文 郎 三 郎 吉 郎  
 助

安

宅

(二)

「貝立貝附 茂山千五郎」





同同同同  
同同同同  
田本藤  
藤本香  
三益大  
浪吉浪三



安

宅 (三)

「祈り」

「おら〜とおしめめは」







安宅(四)

「勸進帳」

「驚かすべき人もなし」

安宅(五)

「恐れつべふと見ゆる」







安

宅

(六)

「散々に打擲す通れとこそ」







安宅(七)

「落て巖にひやくこそ」

安宅(八)

「延年ノ舞」







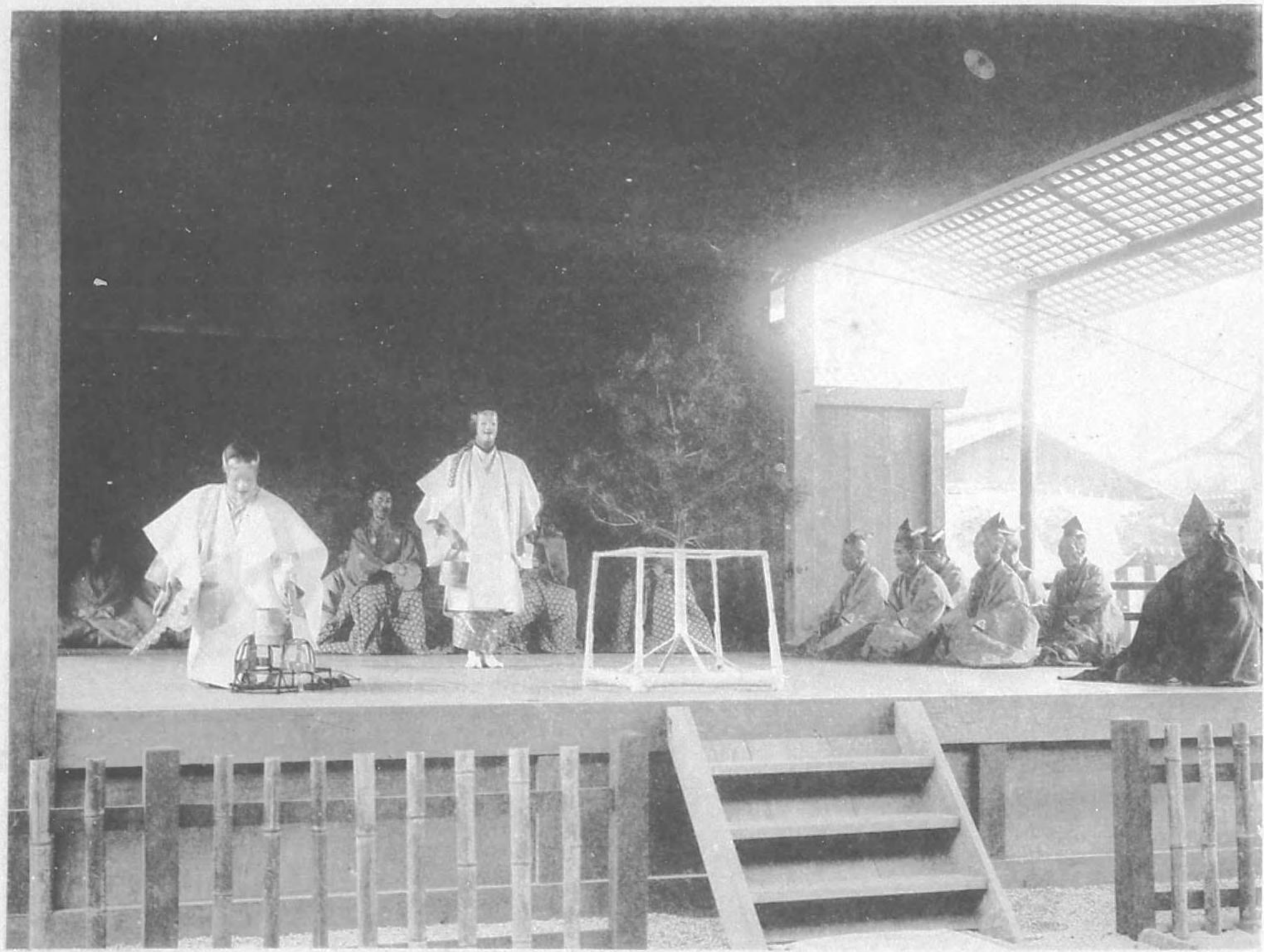
木  
六  
駄

茂山忠三郎

松  
風

ツレ松 木 長  
シテ野口政吉  
ツキ野口貢五郎







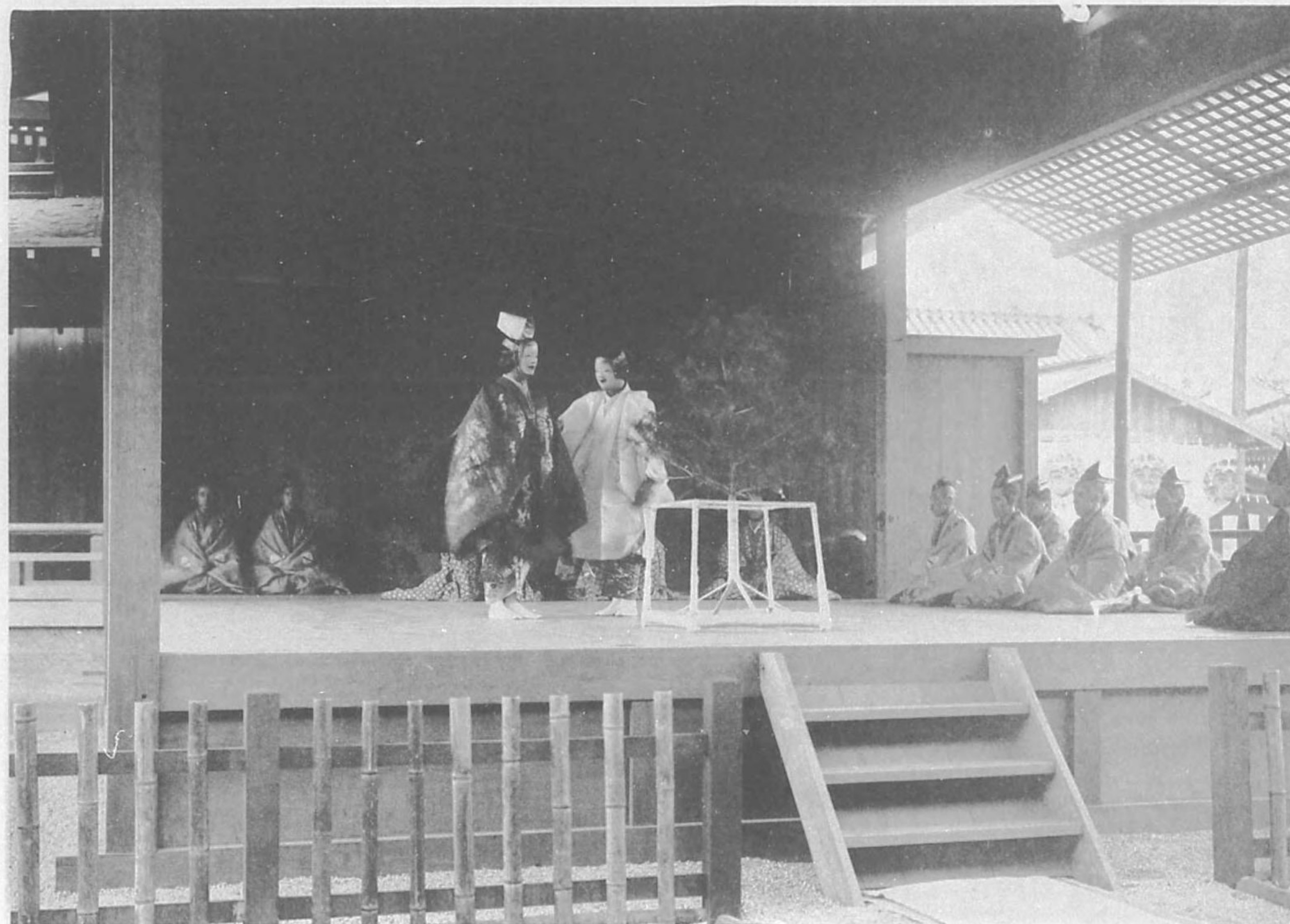
松 風 (二)

「松風もめされさむらぶぞ  
いままむらう」

松 風 (三)

「舞」







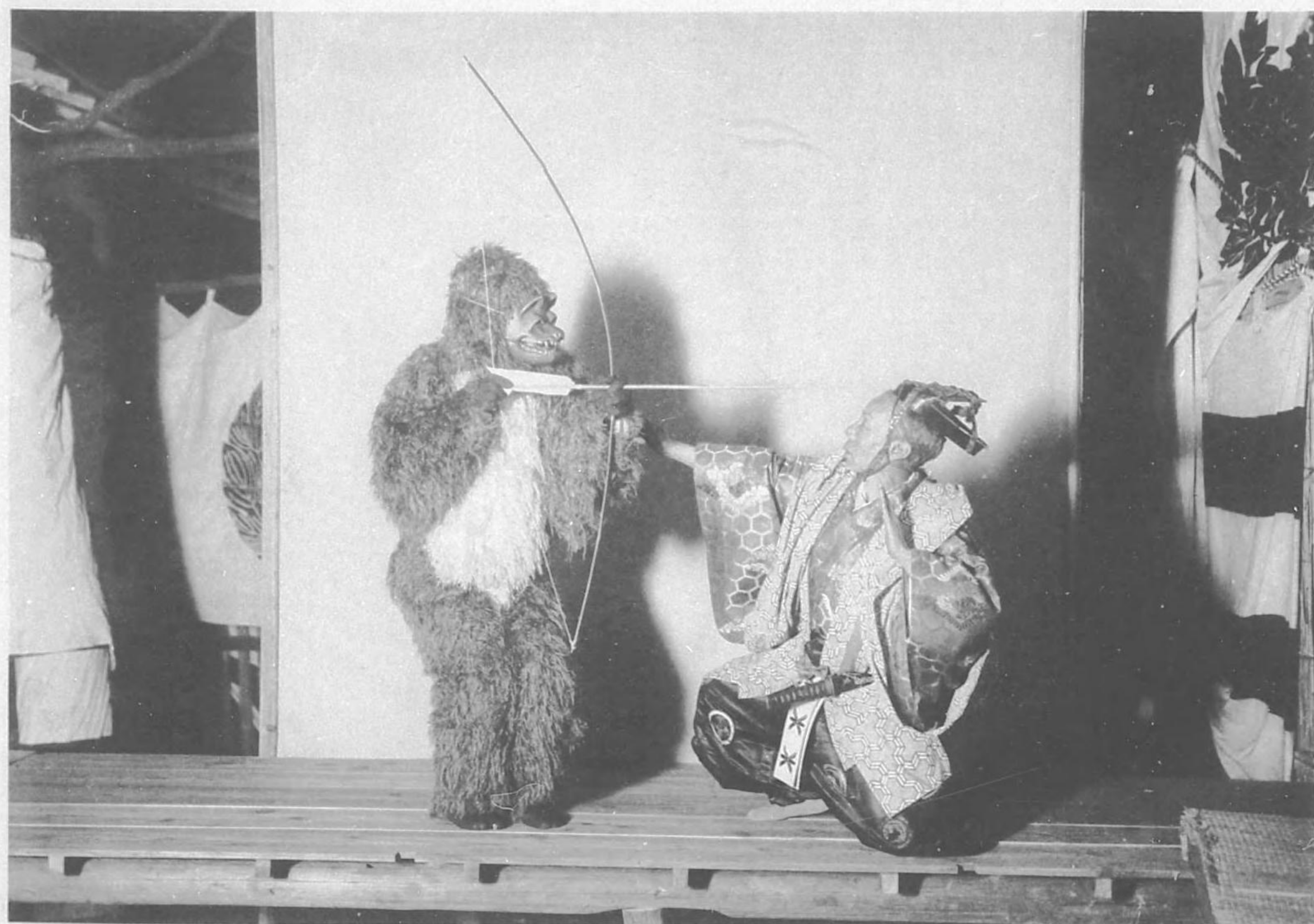
狸腹鼓 (二)

妙寸茂山千五郎

狸腹鼓 (二)

(11)







望 月 (二)

金剛謹之助

獅子雷序之出脇ヲ見込之形

望 月 (二)

獅子干之手ソリ返リ之形

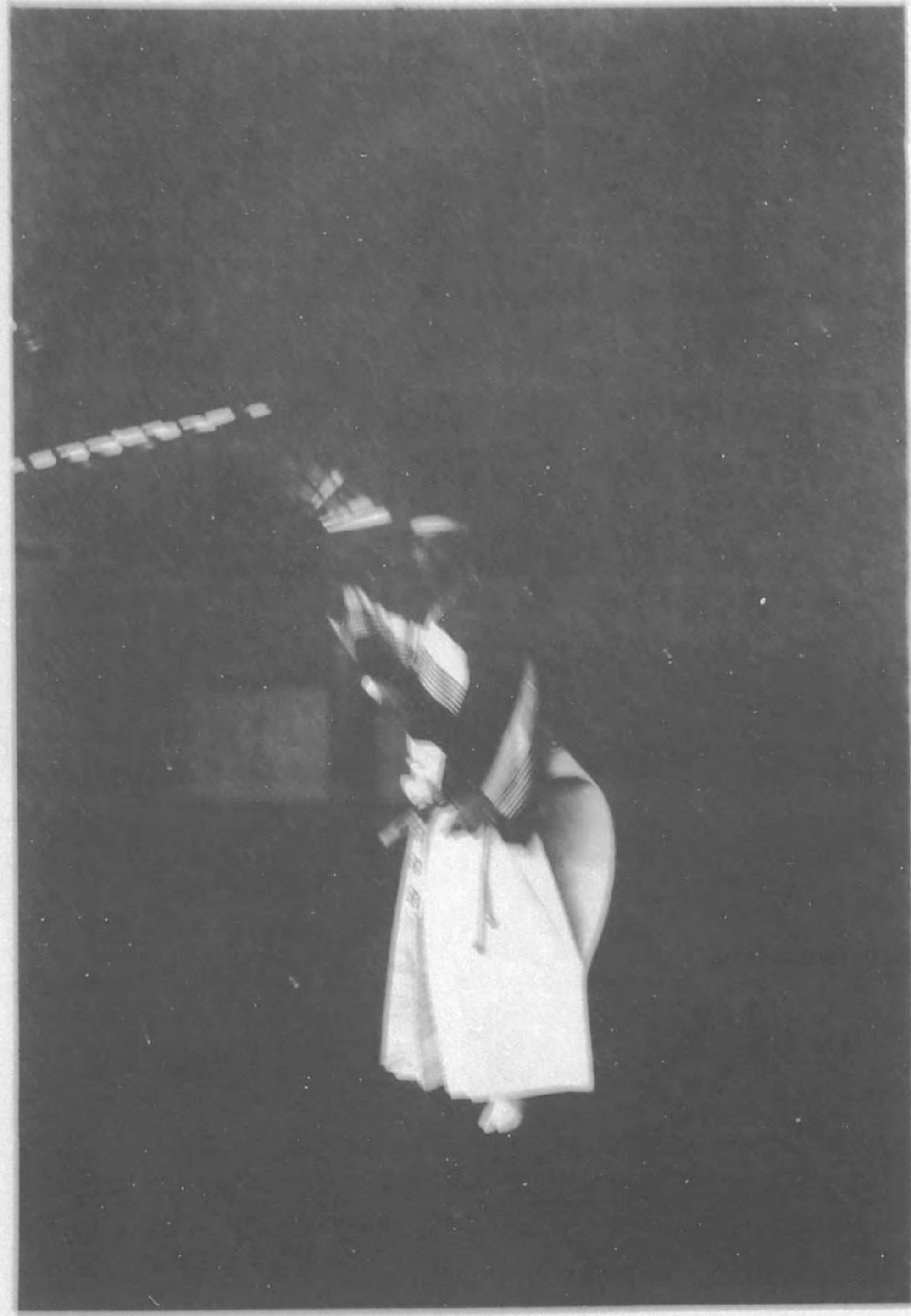
望 月 (三)

留

その名かくれのなき事も

弓矢の謂れなるらん







山姥

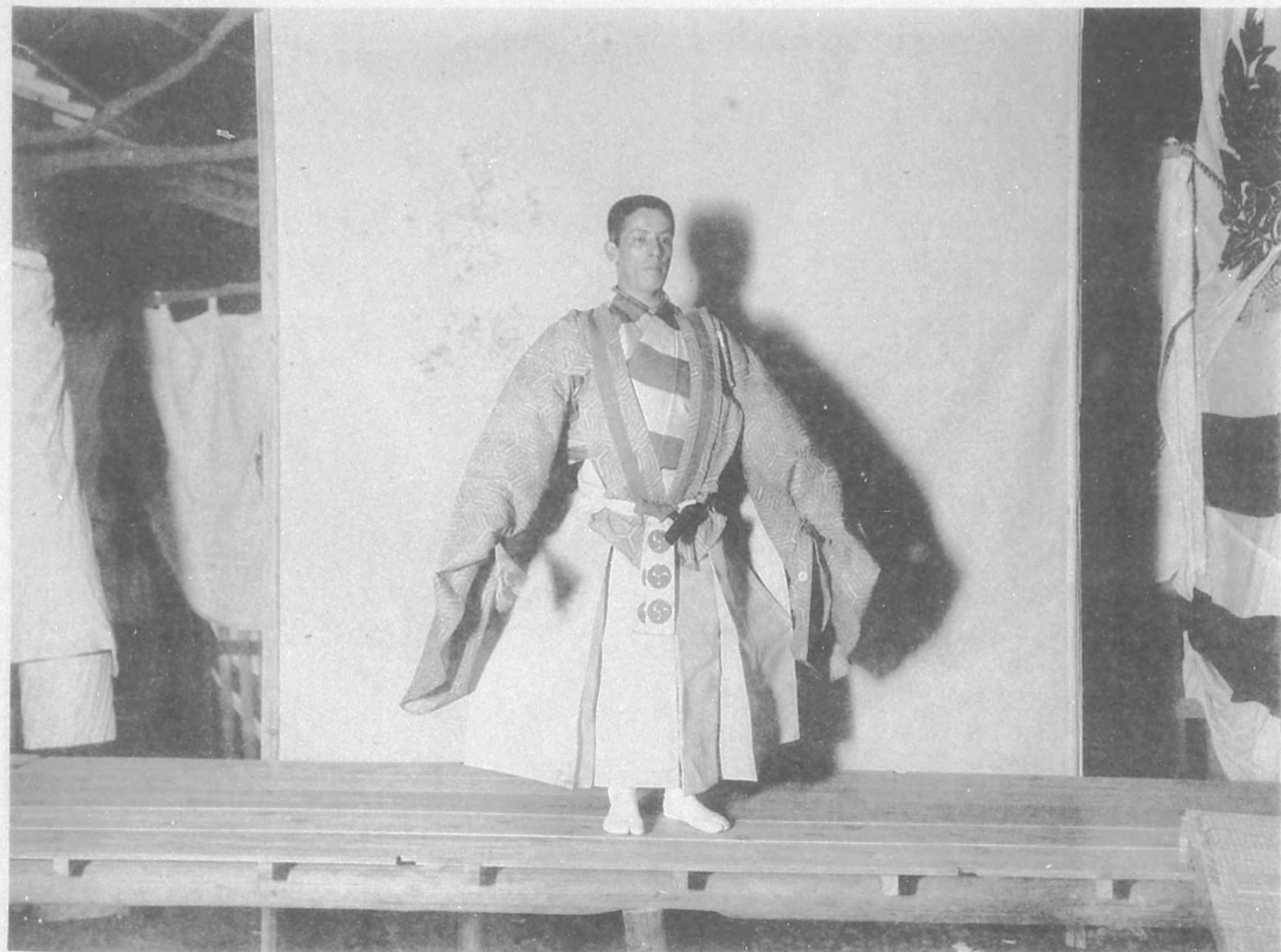
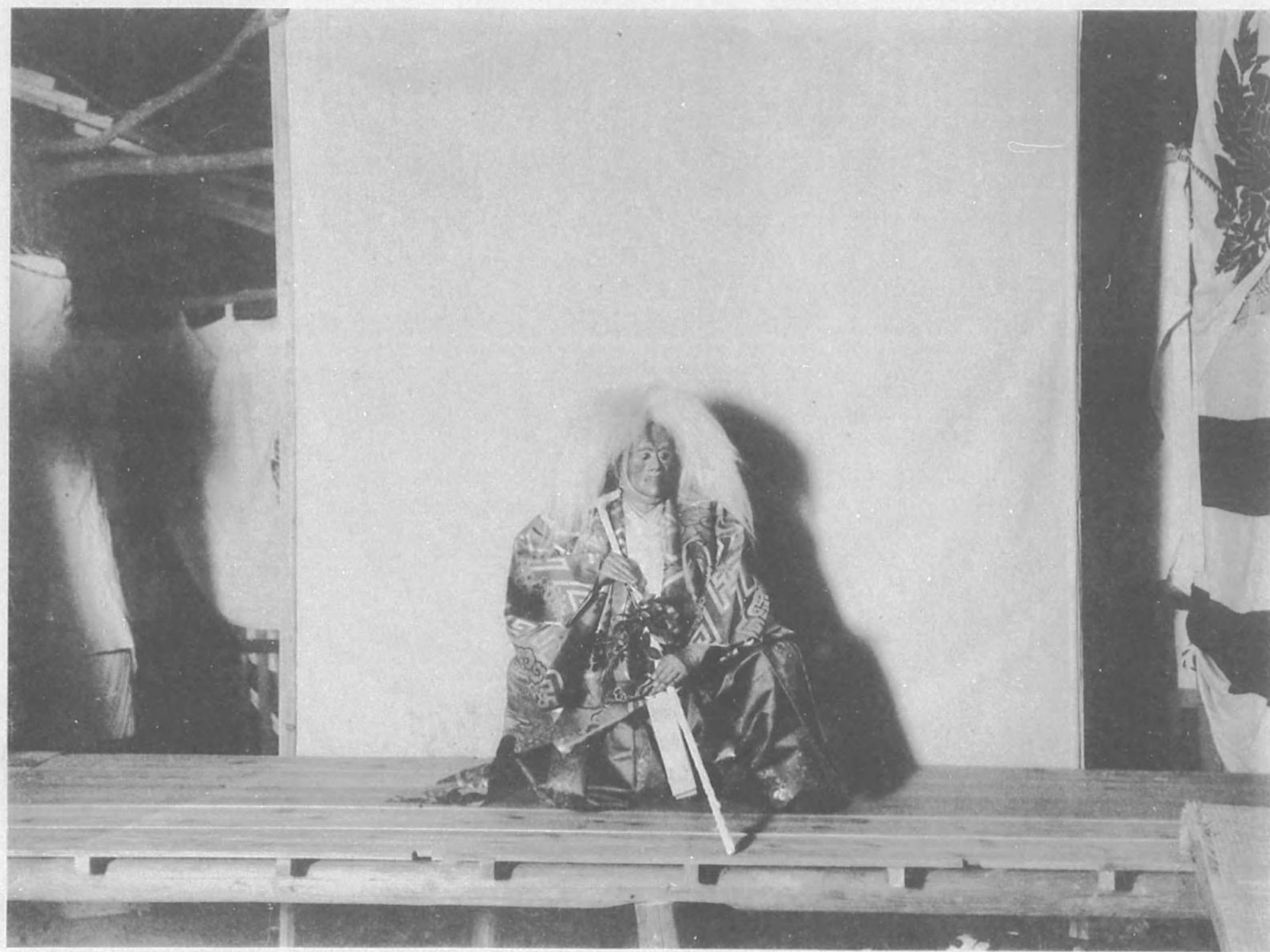
シテ 寺田 左門 治

「月諸に山を出て  
里迄送るおりもあり」

山姥ノワキ

中村 信一







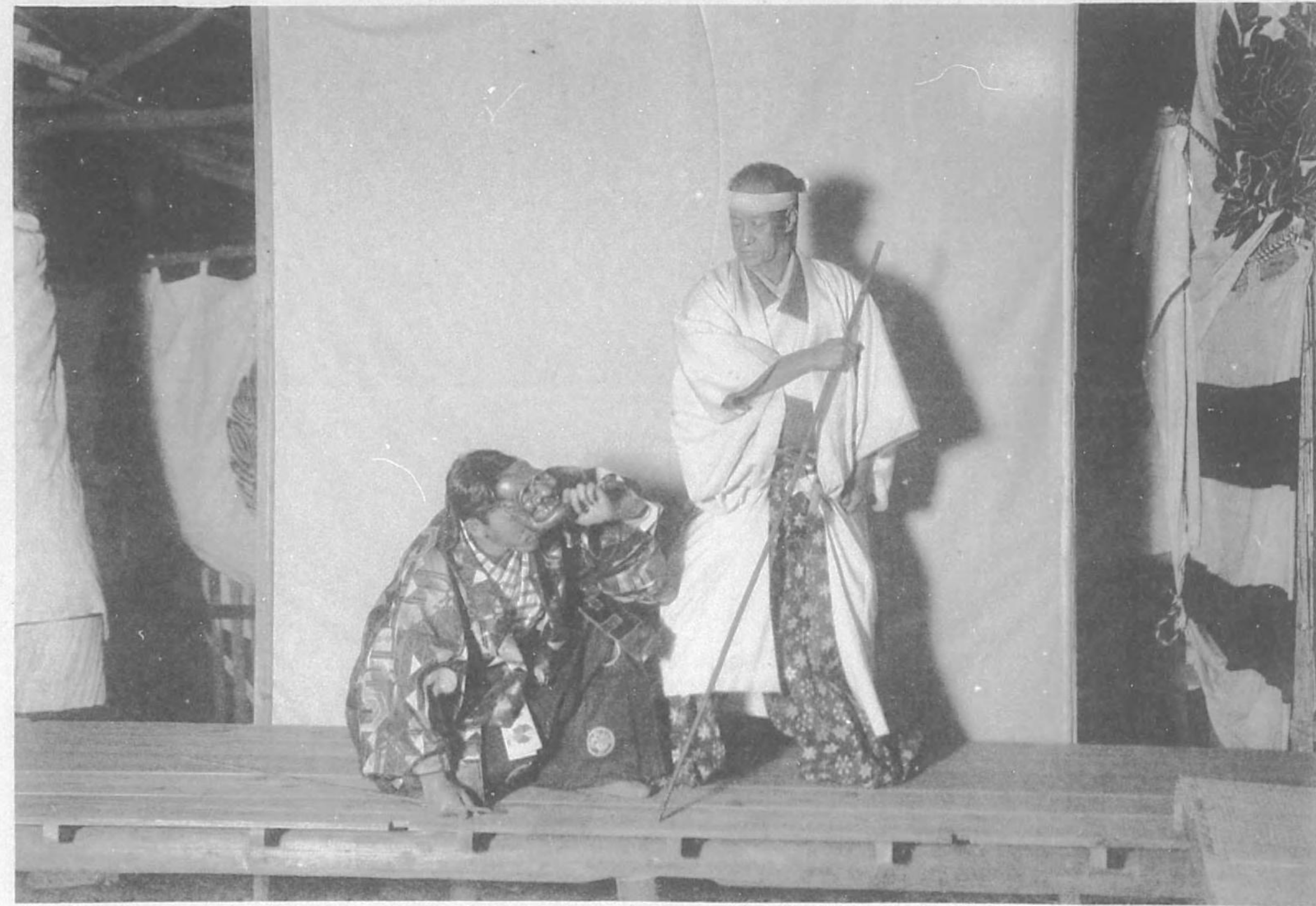
闇罪人

主 茂山忠三郎  
太郎冠者 茂山千五郎

春日龍神

シテ 櫻間金太郎







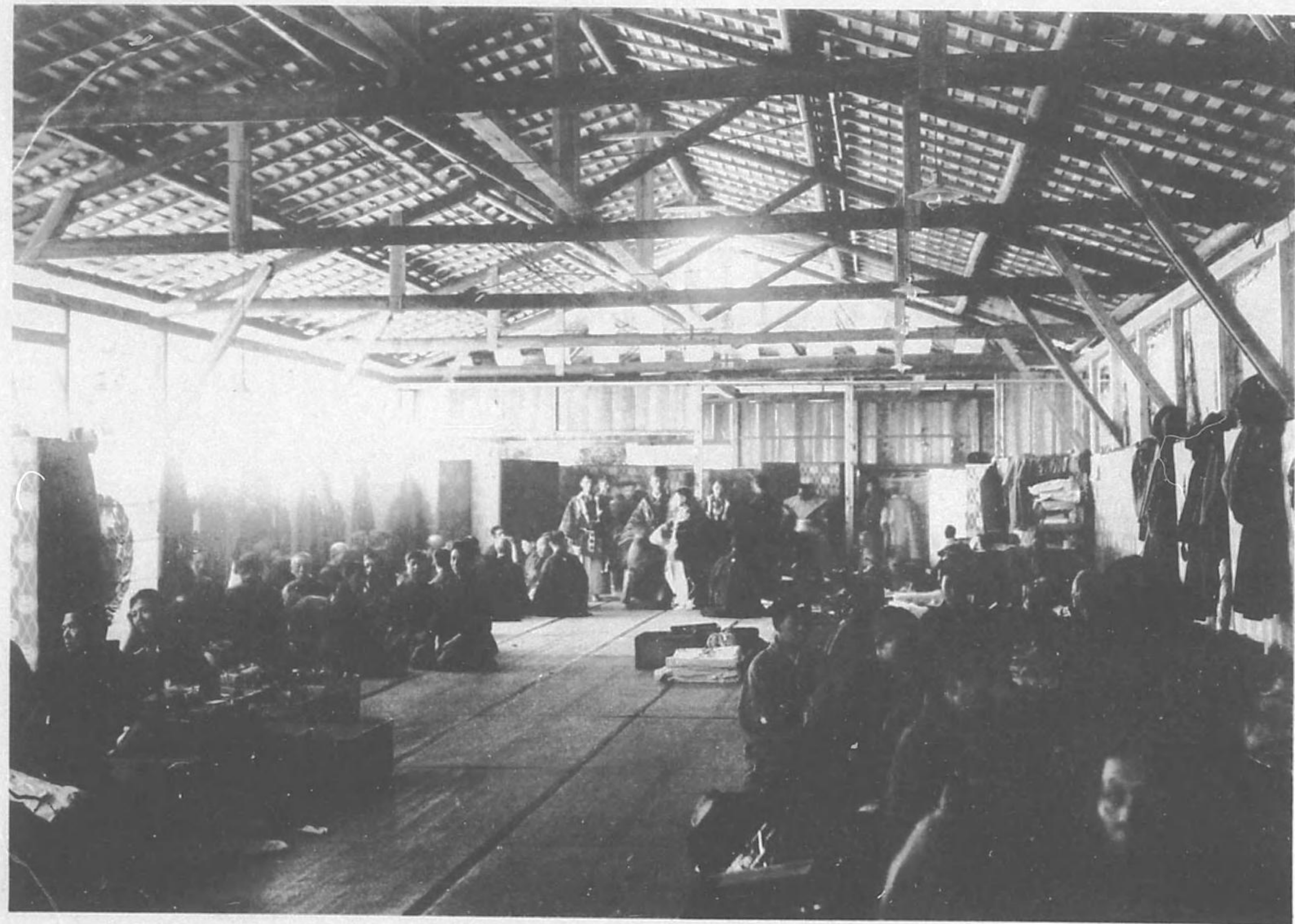
御式能樂屋

(二)

樂

(二) 屋







明治四十四年七月十日印刷

明治四十四年七月廿日發行



編輯者

大谷派眞宗謝德會

代表者

尾瀧延太郎

印發

刷行

者兼

山田直三郎

京都市上京區寺町二條南十九番邸

發行所

京都市寺町二條南入美術書肆

會社名 芸

艸

堂

長電二百九十番  
振替口座大阪二五八



終